

HP Quality Center Dashboard

ソフトウェア・バージョン : 9.20

インストール・ガイド

文書番号 : DBIG9.2JP/01

文書発行日 : 2007 年 5 月 (英語版)

ソフトウェア・リリース日 : 2007 年 5 月 (英語版)



利用条件

保証

HP の製品およびサービスの保証は、かかる製品およびサービスに付属する明示的な保証の声明において定められている保証に限ります。本文書の内容は、追加の保証を構成するものではありません。HP は、本文書に技術的な間違いまたは編集上の間違い、あるいは欠落があった場合でも責任を負わないものとします。

本文書に含まれる情報は、事前の予告なく変更されることがあります。

制限事項

本コンピュータ・ソフトウェアは、機密性があります。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、HP の標準商用ライセンス条件に基づいて米国政府にライセンスされています。

サードパーティ Web サイト

HP は、補足情報の検索に役立つ外部サードパーティ Web サイトへのリンクを提供します。サイトの内容と利用の可否は予告なしに変更される場合があります。HP は、サイトの内容または利用の可否について、いかなる表明も保証も行いません。

著作権

© 1993 - 2007 Mercury Interactive Corporation, All rights reserved

商標

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel® および Pentium® Intel® は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows® および Windows XP® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、カリフォルニア州レッドウッド市の Oracle Corporation の米国登録商標です。

Red Hat™ は、Red Hat, Inc. の登録商標です。

Unix® は、The Open Group の登録商標です。

文書の更新

本書のタイトル・ページには，次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョンを示すソフトウェア・バージョン番号
- 文書が更新されるたびに更新される文書発行日
- 本バージョンのソフトウェアをリリースした日付を示す，ソフトウェア・リリース日付

最新のアップデートまたは文書の最新版を使用していることを確認するには，
http://ovweb.external.hp.com/lpe/doc_serv/ を参照します。

サポート

Mercury 製品のサポート

従来 Mercury が提供していた製品のサポート情報は、次の方法で入手できます。

- HP Software Services Integrator (SVI) パートナー (www.hp.com/managementsoftware/svi_partner_list) を通している場合は、SVI 代理店にお問い合わせください。
- 有効な HP Software サポート契約をお持ちの場合は、HP Software Support サイトを参照して、セルフソルブ技術情報検索を使用して技術的な質問に対する回答を検索できます。
- 従来 Mercury が提供していた製品のサポート・プロセスおよびツールの最新情報については、HP-Mercury Support Web サイト (<http://support.mercury.com>) (英語サイト) を参照してください。
- その他の質問については、HP の営業担当にお問い合わせください。

HP ソフトウェアのサポート

HP Software Support Web サイトへは、www.hp.com/managementsoftware/services からアクセスできます。

HP Software のオンライン・サポートでは、対話型の技術支援ツールに効率的にアクセスできます。サポートをご利用のお客様は、サポート・サイトを使うことで次のような利点があります。

- 参照したいナレッジ文書の検索
- エンハンスメント要求およびサポート・ケースの登録とトラッキング
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの連絡先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の参照
- ソフトウェアの他のお客様とのディスカッションに参加
- ソフトウェアのトレーニングの調査および登録

ほとんどのサポート・エリアは、HP Passport ユーザとしての登録およびサインインが必要です。また多くは、サポート契約も必要です。アクセス・レベルの詳細情報については、www.hp.com/managementsoftware/access_level を参照してください。

HP Passport ID の登録を申請するには、
www.managementsoftware.hp.com/passport-registration.html（英語サイト）にアクセスしてください。

目次

Dashboard へようこそ	9
本書の構成	10
対象読者	10
Dashboard の印刷マニュアル	11
Dashboard のオンライン・マニュアル	11
表記規則	12
 第 1 章：インストールの前に	13
システム要件	13
Dashboard および Quality Center	16
 第 2 章：Dashboard のセットアップ	19
Dashboard のインストール	19
インターネット一時ファイルの設定の定義	49
 第 3 章：WebLogic サーバへの Dashboard アプリケーションの配備	51
 第 4 章：WebSphere サーバへの Dashboard アプリケーションの配備	55
WebSphere 5.1.1.8 への Dashboard アプリケーションの配備	56
WebSphere 5.1.1.8 での設定値の指定	61
WebSphere 6.1 への Dashboard アプリケーションの配備	64
WebSphere 6.1 での設定値の指定	70
 第 5 章：Dashboard のアンインストール	81
Windows からの Dashboard のアンインストール	81
Linux, Solaris, または AIX からの Dashboard のアンインストール	82

Dashboard へようこそ

HP Quality Center Dashboard へようこそ。Dashboard は、IT 管理者がアプリケーションの準備が整っていることをリアルタイムで追跡し、プロジェクトのリスクを管理できるようにする、HP のプラットフォームです。Web 対応のツールである Dashboard は、KPI（主要パフォーマンス指標）に従ってプロジェクトの準備ステータスをグラフィカルに表示します。

本章の内容	ページ
本書の構成	10
対象読者	10
Dashboard の印刷マニュアル	11
Dashboard のオンライン・マニュアル	11
表記規則	12

本書の構成

本書では、Dashboard のインストール・プロセスについて説明します。以下の各章で構成されています。

第 1 章 インストールの前に

Dashboard をインストールするためのサーバおよびクライアントの設定情報を指定し、Dashboard とともに使用する Quality Center のセットアップ方法について説明します。

第 2 章 Dashboard のセットアップ

Dashboard のインストール方法について説明します。

第 3 章 WebLogic サーバへの Dashboard アプリケーションの配備

Dashboard を WebLogic アプリケーション・サーバに配備する方法について説明します。

第 4 章 WebSphere サーバへの Dashboard アプリケーションの配備

Dashboard を WebSphere アプリケーション・サーバに配備する方法、および Dashboard を配備するための設定値を WebSphere 管理コンソールで指定する方法について説明します。

第 5 章 Dashboard のアンインストール

サーバ・マシンから Dashboard をアンインストールする方法について説明します。

対象読者

本書では、次の Dashboard ユーザを対象読者としています。

- ▶ システム管理者
- ▶ データベース管理者

本書では、読者が HP Quality Center に慣れていて、エンタープライズ・システムとデータベース管理に関する高度な技能を持っていることを前提としています。

Dashboard の印刷マニュアル

Dashboard には、次の印刷マニュアルが付属しています。

『**HP Quality Center Dashboard User's Guide**』（英語版）では、HP Quality Center Dashboard を使用してプロジェクトの準備ステータスをリアルタイムでグラフィカルに表示する方法について説明しています。また、各ポートレットについて説明し、各自の必要性に合わせてポートレットの個人用設定を行う方法について説明しています。

『**HP Quality Center Dashboard Administrator's Guide**』（英語版）では、Quality Center Connector を使用して KPI を作成、変更、管理する方法について説明しています。また、ユーザとグループの管理方法や、Dashboard を使用してポートレットと事前設定済みページを作成および管理する方法についても説明しています。

『**HP Quality Center Dashboard インストール・ガイド**』では、Dashboard をインストールする方法について説明し、Dashboard のアプリケーション・データの格納に必要なサーバおよびクライアント・データベース・ソフトウェアについて説明しています。

Dashboard のオンライン・マニュアル

Dashboard には、次のオンライン・マニュアルがあります。

印刷用ドキュメント：Dashboard メニュー・バーにある **[ユーザーズ ガイド]** および **[管理者ガイド]** リンクをクリックすると、各マニュアルが PDF 形式で開きます。

Dashboard オンライン・ヘルプ：各ポートレットの説明が含まれています。ポートレットのヘルプを表示するには、ポートレットのヘルプ・アイコンをクリックします。

表記規則

本書は、次の表記規則に従います。

UI 要素および関数名	アクションを実行する際のインタフェース要素の名前、ファイル名またはパス、および強調が必要なその他の項目は、このスタイルで示します。例： [保存] ボタンをクリックします。メソッド名や関数名もこのスタイルで示します。例： wait_window ステートメントには次のパラメータがあります。
引数	メソッド、プロパティ、関数の引数、書名は、このスタイルで示します。例：『 HP ユーザーズ・ガイド 』を参照してください。
< 置き換える値 >	ファイル・パスまたは URL アドレスの中で実際の値に置き換える必要のある部分は山括弧で囲んで示します。 例： < MyProduct のインストール・フォルダ > %bin。
例	使用例やユーザがそのまま入力する必要がある文字列は、このスタイルで示します。例：エディット・ボックスに Hello と入力します。
CTRL+C	キーボードのキーを示します。例：ENTER キーを押します。
[]	省略可能な引数は、半角の大括弧で囲んで示します。
{ }	引数に割り当てる値の候補は、中括弧で囲んで示します。値をいずれか 1 つ割り当てる必要があります。
...	構文内の 3 つの点は、同じ形式で項目をさらに含めることができることを意味します。プログラミング例に含まれる場合は、何行かが意図的に省略されていることを示します。
 	垂直バー（パイプ記号）は、バーで区切られているオプションのいずれかを指定する必要があることを示します。

第 1 章

インストールの前に

Dashboard のインストールを始める前に、下記のインストール準備手順について確認してください。

本章の内容	ページ
システム要件	13
Dashboard および Quality Center	16

システム要件

Dashboard サーバは、Windows, Linux, AIX, および Solaris 上で実行できます。Dashboard が正常に動作するには、サーバ・マシン上に少なくとも次の環境が必要です。

注：

- ▶ アプリケーション・サーバと Web サーバは、別々のマシンに配置できます。
 - ▶ Dashboard の最新のシステム構成については、
<http://www.mercury.com/us/products/quality-center/Dashboard/requirements.html>（英語サイト）を参照してください。
-

CPU	Windows : Pentium 4 または同等の x86 互換プロセッサ Linux : Pentium 4 または同等の x86 互換プロセッサ Solaris : UltraSPARC-III+ / 900 MHz AIX : 詳細については、システム要件のページ http://www.mercury.com/us/products/quality-center/testdirector/requirements.html (英語最後) を確認してください。
メモリ (RAM)	1 GB 以上 (JBoss の標準のヒープ・メモリ・サイズを大きくする場合は、メモリの増設が必要になることがあります)
空きディスク容量	3 GB 以上
データベース	<ul style="list-style-type: none"> ▶ Oracle 9.2.0.6 Standard または Enterprise Edition ▶ Oracle 10.0g Release 2 Standard または Enterprise Edition ▶ Microsoft SQL Server 2000 Standard または Enterprise Edition (Service Pack 4) ▶ Microsoft SQL Server 2005 Standard または Enterprise Edition (Service Pack 1) ▶ MSDE 2000 Release A (メモリの上限は 2 GB に制限。最大 5 コンカレント・ユーザをサポート。)
Web サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ IIS 6.0 ▶ アプリケーション・サーバに含まれる JBoss, WebLogic, または WebSphere HTTP サーバ ▶ Apache 2.0.54

オペレーティング・システム	アプリケーション・サーバ	Java 仮想マシン
Windows 2000 Server (Service Pack 4) または Windows 2003 Server (Service Pack 1) Standard または Enterprise Edition	JBoss 4.0.2 (Quality Center に含まれる)	JVM 1.5
	WebLogic 8.1.5	<ul style="list-style-type: none"> ▶ BEA JRockit 1.4.2_08-b03 ▶ Sun SDK 1.4.2_08-b03
	WebSphere 5.1.1.8	IBM Java 1.4.2
	WebSphere 6.1	IBM Java 1.5.0

オペレーティング・システム	アプリケーション・サーバ	Java 仮想マシン
Red Hat EnterpriseLinux AS/ES バージョン 3 または Red Hat EnterpriseLinux AS/ES バージョン 4 注意 : Dashboard は, Intel ベース・システム上の Red Hat Enterprise Linux のみをサポートします。	JBoss 4.0.2 (Quality Center に含まれる)	JVM 1.5
	WebLogic 8.1.5	► BEA JRockit 1.4.2_04-8130 ► Sun SDK 1.4.2_04
	WebSphere 5.1.1.8	IBM Java 1.4.2.04
	WebSphere 6.1	IBM Java 1.4.2.05
SUSE Linux Enterprise Server 10	JBoss 4.0.2 (Quality Center に含まれる)	JVM 1.5
	WebLogic 8.1.5	► BEA JRockit 1.4.2_04-8130 ► Sun SDK 1.4.2_04
	WebSphere 5.1.1.8	IBM Java 1.4.2.04
	WebSphere 6.1	IBM Java 1.4.2.05
Solaris 9 OE または Solaris 10 OE 注意 : Dashboard は, SPARC ベース・システム上の Solaris のみをサポートします。	JBoss 4.0.2 (Quality Center に含まれる)	JVM 1.5
	WebLogic 8.1.5	► BEA JRockit 1.4.2_04-8130 ► Sun SDK 1.4.2_04
	WebSphere 5.1.1.8	IBM Java 1.4.2.04
	WebSphere 6.1	IBM Java 1.4.2.05
AIX 5.3	WebSphere 5.1.1.8	IBM Java 1.4.2.04
	WebSphere 6.1	IBM Java 1.4.2.05

Dashboard にはクライアント・マシンからアクセスします。Dashboard が正常に動作するには、クライアント・マシン上に少なくとも次の環境が必要です。

CPU	Pentium III 以上または同等の x86 互換プロセッサ
メモリ (RAM)	512 MB 以上
空きディスク容量	300 MB 以上
オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none">▶ Windows 2000 Server/Professional Service Pack 4▶ Windows 2003 Server (Service Pack 1) Standard または Enterprise Edition▶ Windows XP (32 ビット) Professional または Home Edition (Service Pack 2)
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none">▶ 256 色以上のカラー・パレット (65536 色以上を推奨)。▶ 1024 x 768 以上の解像度
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">▶ Microsoft Internet Explorer 6.0 (Service Pack 1) (Windows Vista はサポートされていません)▶ Microsoft Internet Explorer 7.0

Dashboard および Quality Center

Dashboard は Quality Center 8.2 (Service Pack 1 以降) と連携して動作させることができます。

Dashboard を、Jboss が配備する Quality Center サーバと同じマシンにインストールする場合は、Dashboard 用の Quality Center パッチをインストールしてから Dashboard をインストールする必要があります。

Dashboard 用の Quality Center パッチをインストールするには、次の手順を実行してください。

- 1 HP Quality Center Software 9.2 DVD の
¥QualityCenterDashboard¥Installation¥ <プラットフォーム> ¥QC_Patch
ディレクトリでパッチ・ファイルを探します。
- 2 このインストール・ファイルを Quality Center サーバ上で実行します。

クラスタへの配備のためのロード・バランサ設定

複数の Dashboard のインスタンスがクラスタに配備されていて、ロード・バランサを通じてアクセスされる場合は、Dashboard のトラフィックを処理できるようにロード・バランサを設定する必要があります。

ロード・バランサの設定の詳細については、TestDirector for Quality Center ナレッジ・ベース (<http://support.mercury.com>) (英語サイト) を参照し、Problem ID **44211** を検索してください。

第 2 章

Dashboard のセットアップ

本章では、Windows, Linux, Solaris, または AIX オペレーティング・システムに Dashboard をインストールする方法について説明します。

本章の内容	ページ
Dashboard のインストール	19
インターネット一時ファイルの設定の定義	49

Dashboard のインストール

Dashboard をインストールする前に、第 1 章「インストールの前に」で説明している Quality Center に関するインストール準備手順を必ず実行してください。

注： Dashboard の配備方法に関する一般的なガイドラインについては、Mercury Support Knowledge Base (<http://support.mercury.com/cgi-bin/portal/CSO/kbBrowse.jsp>) (英語サイト) を参照し、「**TestDirector for Quality Center**」を選択し、記事番号 **46295** を検索してください。

Dashboard をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 HP Quality Center Dashboard インストール DVD を DVD ドライブに挿入し、DVD の **¥QualityCenterDashboard¥Installation¥ <プラットフォーム>** フォルダにある、使用するオペレーティング・システムに対応したファイルを実行します。

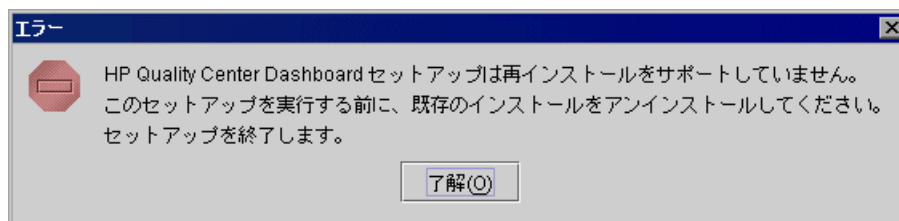
注： InstallShield Wizard ウィンドウが閉じてからインストール・プログラムが開始するまでに、しばらく時間がかかることがあります。

オペレーティング・システム	実行可能ファイル
Windows	setup.exe
Linux	setupLinux.bin
Solaris	./setupSolaris.bin -console -W platformCheck.active=false
AIX	setupAix.bin

[HP Dashboard のインストールへようこそ] 画面が開きます。

- 2 [次へ] をクリックします。

コンピュータに Dashboard がすでにインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。



JBoss が実行されている Quality Center サーバと同じマシンに Dashboard をインストールしようとしていて、そのマシンに Quality Center のパッチをまだインストールしていない場合は、Quality Center のパッチをインストールするように指示するメッセージが表示されます。この場合は、インストールをいったん終了し、Quality Center のパッチをインストールした後、再度 Dashboard のインストールを開始してください。Quality Center のパッチの詳細については、16 ページ「Dashboard および Quality Center」を参照してください。

[使用許諾契約] 画面が開きます。

- 3 使用許諾契約をお読みください。使用許諾契約の条件に同意する場合は、**[使用条件の条項に同意します。]** をクリックします。
- 4 **[次へ]** をクリックします。

注： Dashboard をインストールしようとしているマシンに Quality Center がインストールされている場合は、Quality Center が使用しているアプリケーション・サーバ・インスタンスを Dashboard が共用することを知らせるメッセージが表示されます。インストール作業を続けるには、**[Quality Center のアプリケーション サーバ インスタンスを共有する]** チェック・ボックスを選択し、**[次へ]** をクリックします。

[HP Quality Center Dashboard のインストール先ディレクトリ] 画面が開きます。



表示されているパスと異なる場所を選択するには、**ブラウズ** をクリックしてフォルダを選択し、続いて **OK** をクリックします。

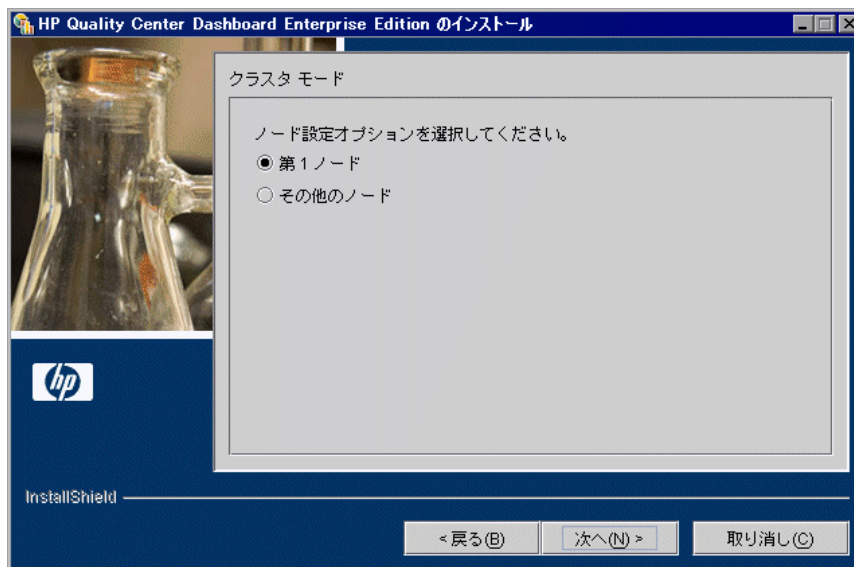
5 [次へ] をクリックします。[運用構成] 画面が開きます。



次のいずれかを選択し、[次へ] をクリックします。

- ▶ **[スタンドアロン]** : クラスタの一部となっていないサーバに Dashboard をインストールする場合に、このオプションを選択します。25 ページの手順 7 に進みます。
- ▶ **[クラスタ]** : クラスタのノードに Dashboard をインストールする場合に、このオプションを選択します。24 ページの手順 6 に進みます。

6 [クラスタ モード] 画面が開きます。



次のいずれかを選択します。

- **[第1ノード]**：クラスタのどのノードにもまだ Dashboard がインストールされていない場合に、このオプションを選択します。
- **[その他のノード]**：すでにクラスタのノードに Dashboard がインストールされている場合に、このオプションを選択します。

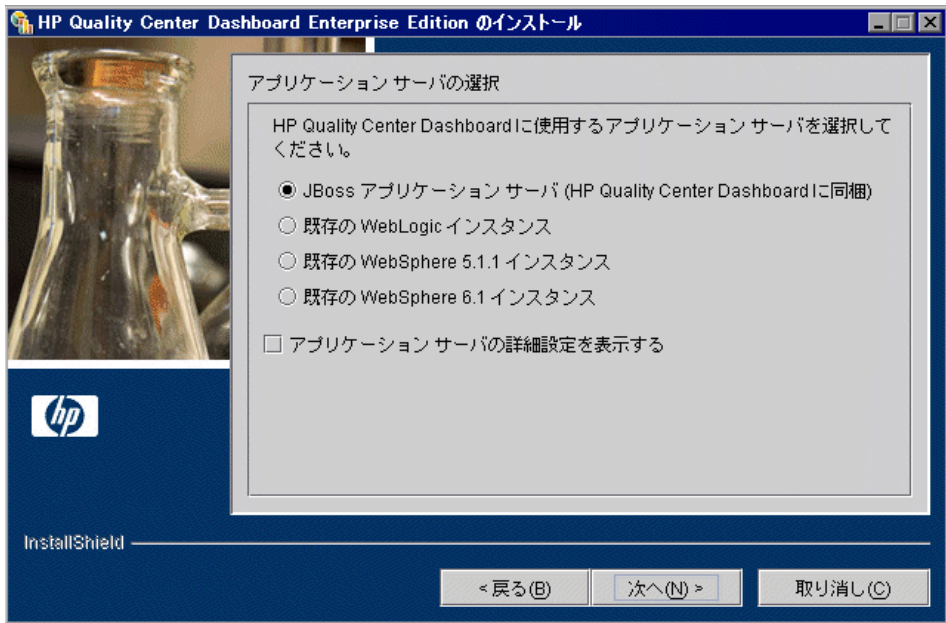
7 [次へ] をクリックします。[URL の形式] 画面が開きます。



次のいずれかのオプションを選択します。

- ▶ **[ホスト名を使用する]** : ホスト名に従ってホストに接続するよう、システム URL を設定します。この方式は、ホスト名へのアクセスが可能な LAN または WAN を経由して Dashboard を使用する場合に選択します。
- ▶ **[IP アドレスを使用する]** : IP アドレスに従ってホストに接続するよう、システム URL を設定します。この方式は、ホスト名が認識されない場所で Dashboard を使用する場合に選択します。この方式はホスト・サーバの IP アドレスが固定の場合にのみ選択してください。

- 8 [次へ] をクリックします。[アプリケーションサーバの選択] 画面が開きます。Dashboard の配備先となるアプリケーション・サーバを選択します。



次のいずれかを選択します。

- ▶ **[JBoss アプリケーション サーバ]** : Dashboard で提供されている JBoss アプリケーション・サーバを使用します。
- ▶ **[既存の WebLogic インスタンス]** : Dashboard のインストール先となるサーバにある WebLogic インスタンスを使用します。
- ▶ **[既存の WebSphere 5.1.1 インスタンス]** : Dashboard のインストール先となるサーバにある WebSphere 5.1.1 インスタンスを使用します。
- ▶ **[既存の WebSphere 6.1 インスタンス]** : Dashboard のインストール先となるサーバにある WebSphere 6.1 インスタンスを使用します。

次のいずれかの場合は、[アプリケーション サーバの詳細設定を表示する] を選択します。

- ▶ **JBoss** アプリケーション・サーバを使用し、標準のポート番号を変更する場合
- ▶ **WebLogic** または **WebSphere** アプリケーション・サーバを使用し、アプリケーション・サーバが標準のポート番号（WebLogic では 7001, WebSphere では 9080）を使用しない場合

[次へ] をクリックします。

[アプリケーション サーバの詳細設定を表示する] を選択した場合は、28 ページの手順 9 に進みます。

[アプリケーション サーバの詳細設定を表示する] を選択しなかった場合は、次のようにします。

- ▶ **JBoss** の場合は、29 ページ「JBoss サーバへの Dashboard のインストール」に進みます。
- ▶ **Weblogic** または **WebSphere** の場合は、33 ページ「メール・プロトコル・オブションの指定」に進みます。

9 [アプリケーション サーバ詳細設定] 画面が開きます。



[**アプリケーション サーバの HTTP ポート**] エディット・ボックスに、選択したアプリケーション・サーバの標準のポート番号を入力します。選択したポートがすでに使用されている場合は、警告が表示され、別のポートを選択するよう求められます。

- **JBoss** : 8080。必要に応じて、JBoss アプリケーション・サーバの標準のポート番号を変更できます。
- **WebLogic** : 7001
- **WebSphere** : 9080

[**次へ**] をクリックします。

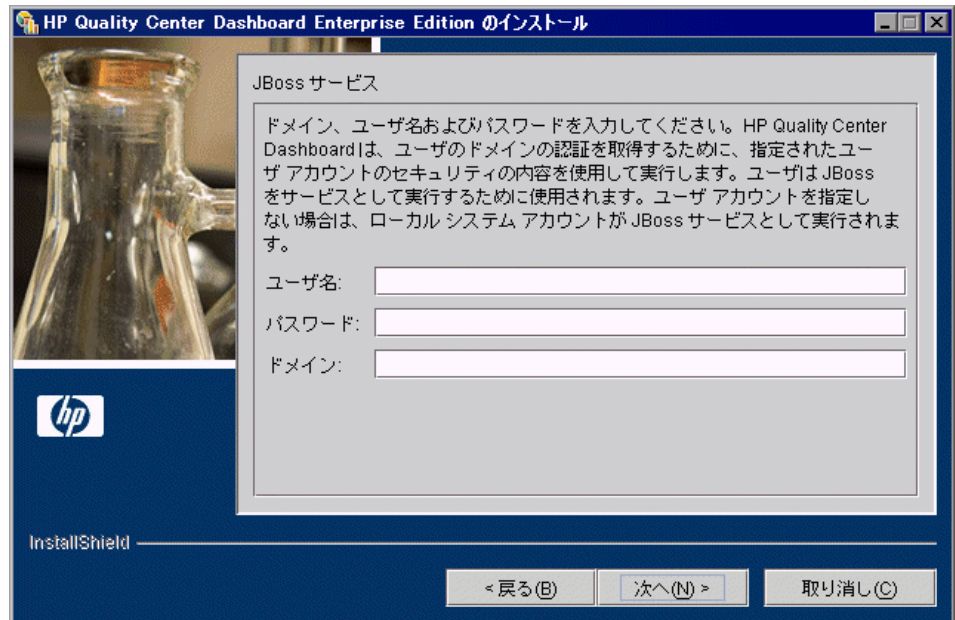
- **JBoss** の場合は、29 ページ「JBoss サーバへの Dashboard のインストール」に進みます。
- **Weblogic** または **WebSphere** の場合は、33 ページ「メール・プロトコル・オプションの指定」に進みます。
- **Windows 以外のオペレーティング・システム**にインストールする場合は、34 ページの手順 2 に進みます。

JBoss サーバへの Dashboard のインストール

JBoss サーバで動作するように Dashboard をインストールする場合は、Dashboard で JBoss の設定を行う必要があります。

JBoss の設定を行うには、次の手順を実行します。

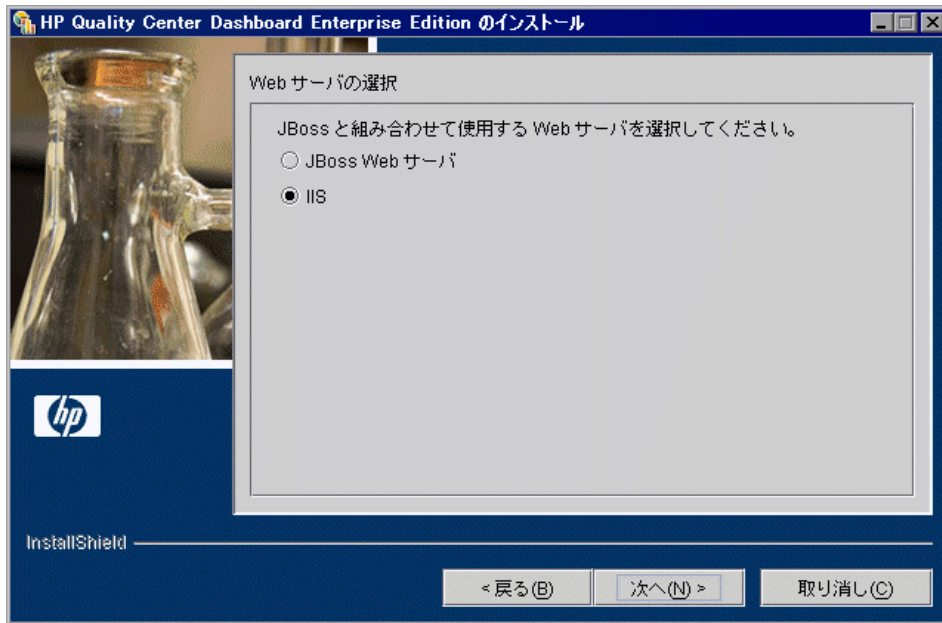
- 1 [JBoss サービス] 画面で、JBoss サービスのユーザ・アカウントを指定します。



JBoss をサービスとして実行するために使用する **[ユーザ名]**、**[パスワード]**、**[ドメイン]** を入力します。これで、JBoss サービスがローカル・ネットワークにアクセスできるようになります。

注：これらのフィールドを空のままにした場合は、ローカル・システム・アカウントを使用して JBoss サービスが実行され、JBoss サービスがローカル・ネットワークにアクセスできなくなります。

- 2 [次へ] をクリックします。[Web サーバの選択] 画面が開きます。

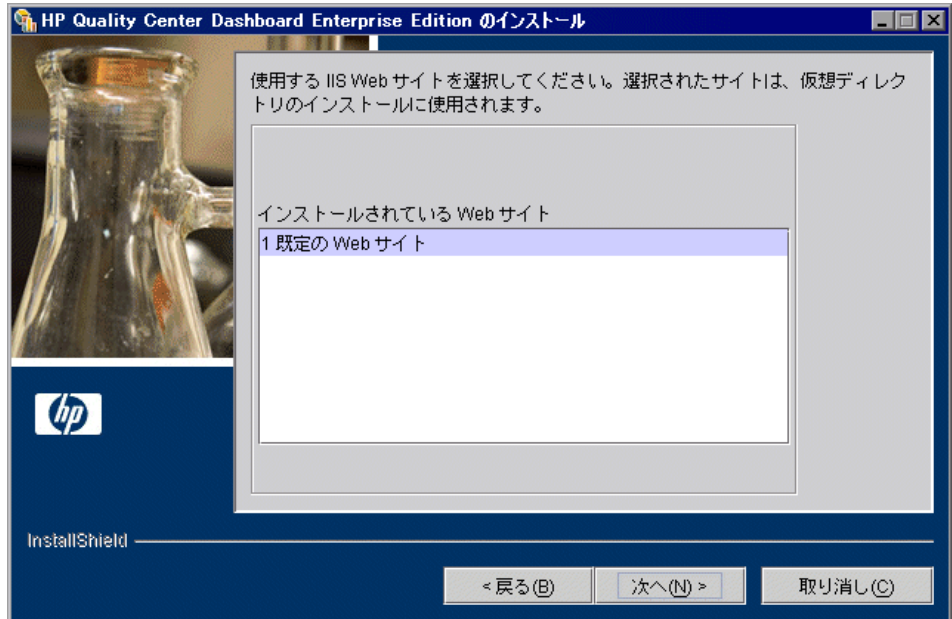


JBoss と統合する Web サーバを選択します。JBoss に付属する Web サーバまたは Microsoft IIS を使用できます。

[次へ] をクリックします。

- ▶ **JBoss** を選択した場合は、33 ページ「メール・プロトコル・オプションの指定」に進みます。
- ▶ **IIS** を選択した場合は、31 ページの手順 3 に進みます。

3 [インストールされている Web サイト] 画面が開きます。



Dashboard で使用する IIS Web サイトを選択します。「既定の Web サイト」を選択することをお勧めします。

- 4 [次へ] をクリックします。[JBoss サーバの AJP ポート] 画面が開きます。



[JBoss AJP13 ポート] エディット・ボックスで、JBoss のポート番号を変更できます。標準設定のポートは 8009 です。

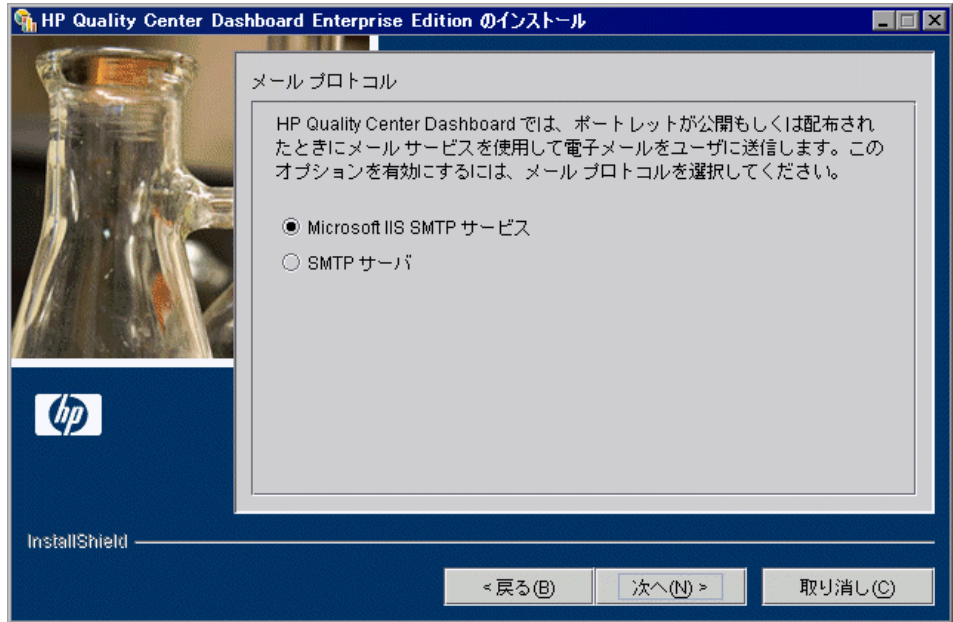
33 ページ「メール・プロトコル・オプションの指定」に進みます。

メール・プロトコル・オプションの指定

次の手順では、Dashboard で使用するメール・プロトコルを指定します。

メール・プロトコルのオプションを指定するには、次の手順を実行します。

- 1 [メールプロトコル] 画面が開きます。



Dashboard がポートレットを発行または配布するときに電子メール通知を送信するために使用するメール・プロトコルを選択します。

次のプロトコルのいずれか1つを選択します。

- ▶ **[Microsoft IIS SMTP サービス]** : 35 ページ「データベース情報の指定」に進みます。
- ▶ **[SMTP サーバ]** : 34 ページの手順 2 に進みます。

- 2 [次へ] をクリックします。[メール サーバ設定] 画面が開きます。



[SMTP サーバ名] (または SMTP サーバの IP アドレス) と [SMTP サーバポート] を入力します。

35 ページ「データベース情報の指定」に進みます。

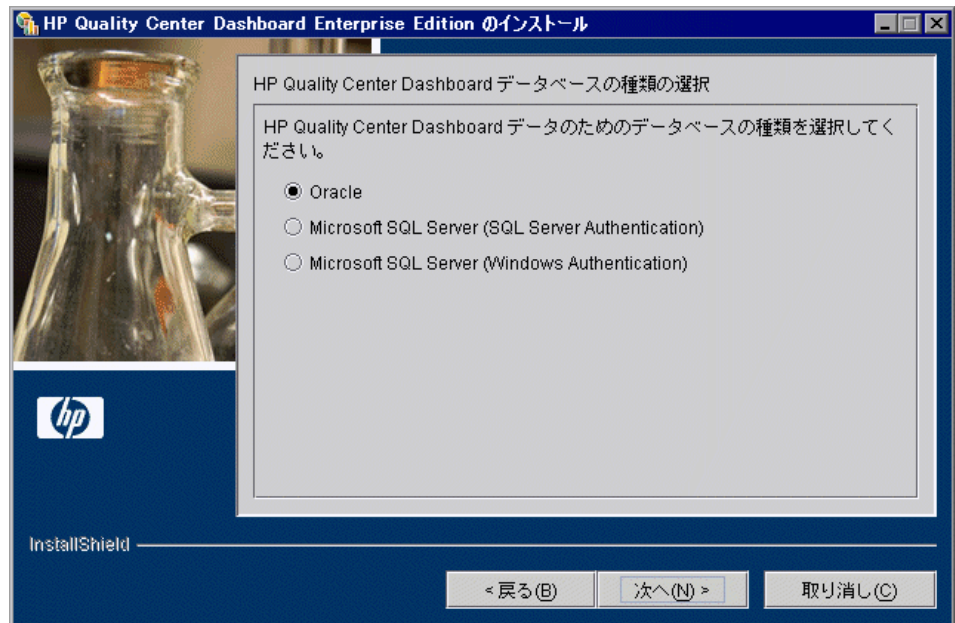
データベース情報の指定

次の手順では、データベースの種類を選択し、Dashboard 用のデータベース設定を定義します。

データベース・オプションを設定するには、次の手順を実行します。

- 1 [次へ] をクリックします。[HP Quality Center Dashboard データベースの種類の選択] 画面が開きます。

Windows 以外のユーザへの注意 : Windows 以外のオペレーティング・システムに Dashboard をインストールしている場合は、[HP Quality Center Dashboard データベースの種類の選択] 画面に [Microsoft SQL Server (Windows Authentication)] オプションは表示されません。

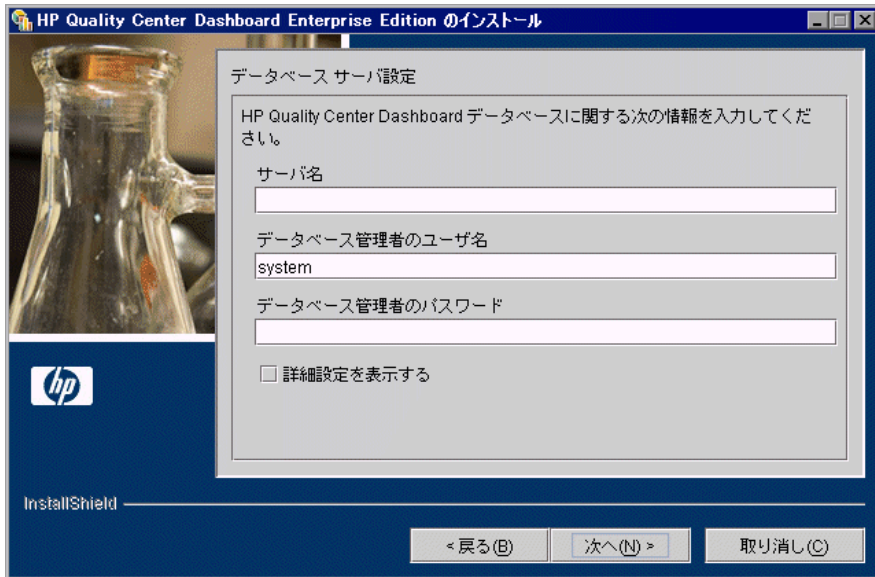


Dashboard でデータの格納に使用するデータベースの種類を次の中から選択します。

- **Oracle**
- **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)**
- **Microsoft SQL Server (Windows 認証)**

- 2 [次へ] をクリックします。[データベース サーバ設定] 画面が開きます。この画面のフィールドは、手順1で選択したデータベースの種類に応じて異なります。

[Oracle] または [Microsoft SQL Server (SQL Server Authentication)] を選択した場合は、次のフィールドが表示されます。

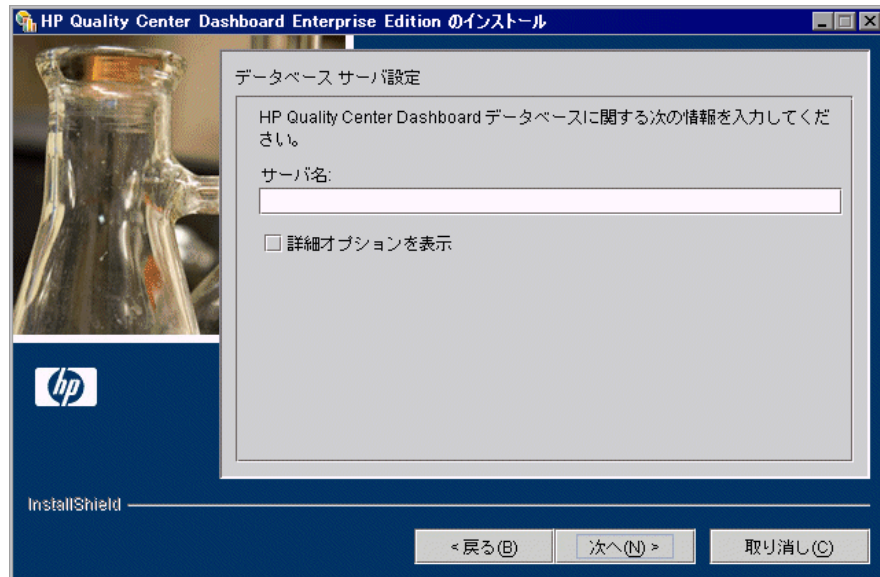


The screenshot shows the 'HP Quality Center Dashboard Enterprise Edition のインストール' (Installation) window. On the left is a vertical panel with an image of a glass pitcher and the HP logo. The main area is a dialog box titled 'データベース サーバ設定' (Database Server Settings). It contains the following text and fields:

- Text: HP Quality Center Dashboard データベースに関する次の情報を入力してください。
- Field: サーバ名 (Server Name) - empty text box
- Field: データベース管理者のユーザ名 (Database Administrator Username) - text box containing 'system'
- Field: データベース管理者のパスワード (Database Administrator Password) - empty text box
- Checkbox: ☐ 詳細設定を表示する (Show advanced settings)

At the bottom of the window are three buttons: '< 戻る (B)' (Back), '次へ (N) >' (Next), and '取り消し (C)' (Cancel).

[**Microsoft SQL Server (Windows Authentication)**] を選択した場合は、次のフィールドが表示されます。



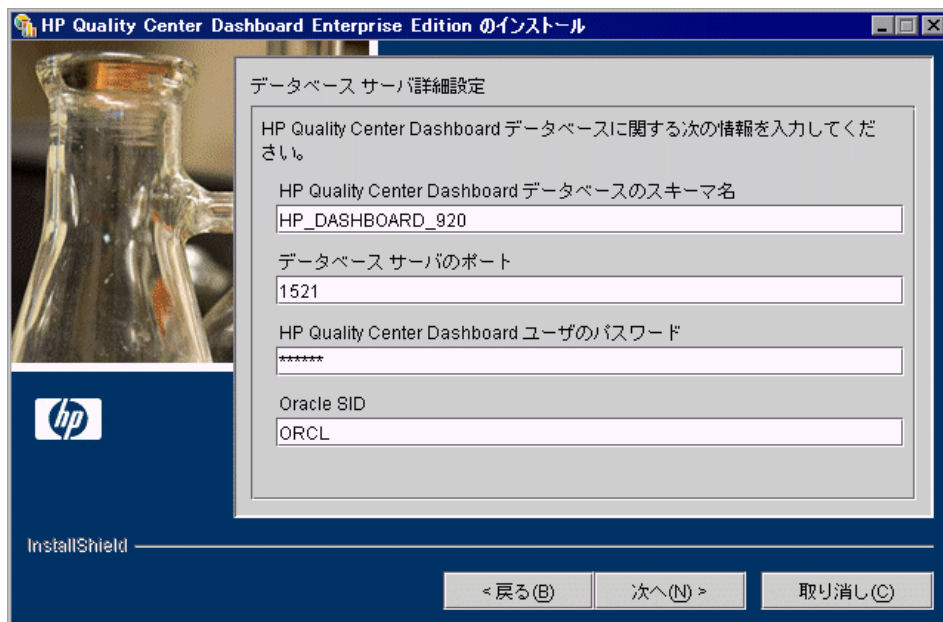
データベースの種類に応じて、Dashboard のデータベース・サーバに関する次の情報を入力します。

- ▶ [サーバ名] : このフィールドは、**すべてのデータベースの種類**に適用されます。
- ▶ [データベース管理者のユーザ名] : このフィールドは、**Oracle** および **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** に適用されます。
- ▶ [データベース管理者のパスワード] : このフィールドは、**Oracle** および **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** に適用されます。

データベースの詳細設定を定義するには、[**詳細設定を表示する**] を選択します。

- 3 [次へ] をクリックします。[データベース サーバ詳細設定] 画面が開きます。この画面のフィールドは、手順1で選択したデータベースの種類に応じて異なります。

[Oracle] を選択した場合は、次のフィールドが表示されます。



The screenshot shows the 'HP Quality Center Dashboard Enterprise Edition のインストール' (Installation) window. On the left is a vertical panel with an image of a glass pitcher and the HP logo. The main area is a dialog box titled 'データベース サーバ詳細設定' (Database Server Detailed Settings). It contains the following fields:

- HP Quality Center Dashboard データベースのスキーマ名 (HP Quality Center Dashboard Database Schema Name): HP_DASHBOARD_920
- データベース サーバのポート (Database Server Port): 1521
- HP Quality Center Dashboard ユーザのパスワード (HP Quality Center Dashboard User Password): *****
- Oracle SID (Oracle SID): ORCL

At the bottom of the window, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and '取り消し(C)' (Cancel). The 'InstallShield' logo is visible in the bottom left corner of the window.

「**Microsoft SQL Server (SQL Server Authentication)**」を選択した場合は、次のフィールドが表示されます。

HP Quality Center Dashboard Enterprise Edition のインストール

データベース サーバ詳細設定

HP Quality Center Dashboard データベースに関する次の情報を入力してください。

HP Quality Center Dashboard データベースのスキーマ名
HP_DASHBOARD_920

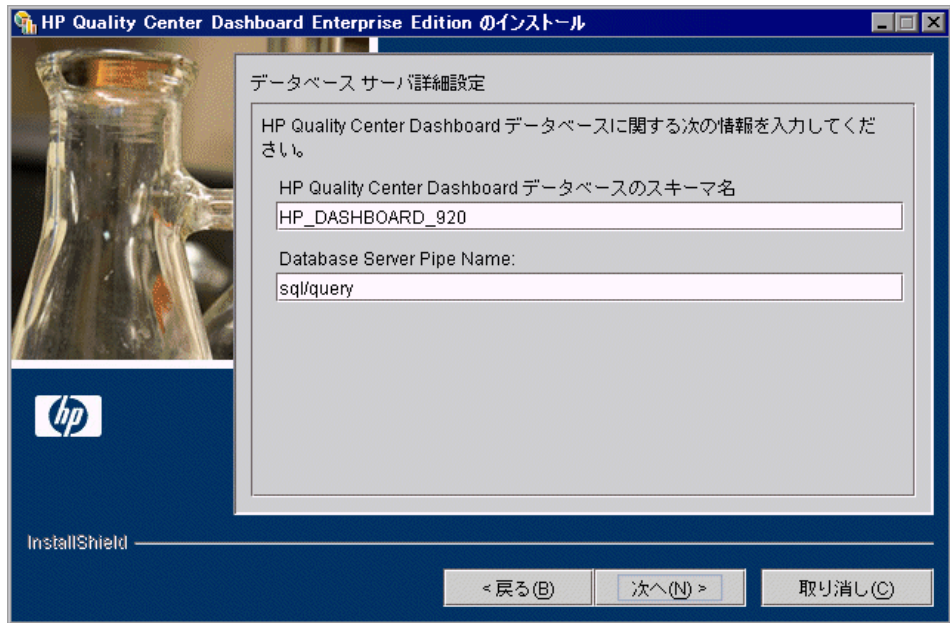
データベース サーバのポート
1433

HP Quality Center Dashboard ユーザのパスワード

InstallShield

< 戻る (B) 次へ (N) > 取り消し (C)

[**Microsoft SQL Server (Windows Authentication)**] を選択した場合は、次のフィールドが表示されます。



データベースの種類に応じて、各フィールドに次の情報を入力します。

- ▶ [**HP Quality Center Dashboard データベースのスキーマ名**] (すべてのデータベースの種類) : Dashboard データベース・スキーマの名前 (Oracle では最大 30 文字, Microsoft SQL では最大 128 文字) を入力します。名前には, 0 ~ 9 の数字, 英字, アンダスコア文字 ("_") を使用できます。数字で始まる名前は使用できません。このスキーマは Dashboard アプリケーション・データの格納に使用されます。標準の Dashboard データベース・スキーマ名は MERCURY_Dashboard_900 です。
- ▶ [**データベース サーバのポート**] (Oracle および Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)) : Oracle または Microsoft SQL Server のポート番号を入力します。標準のポート番号は次のとおりです。
 - ▶ **Oracle** : 1521 を入力します。
 - ▶ **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** : 1433 を入力します。

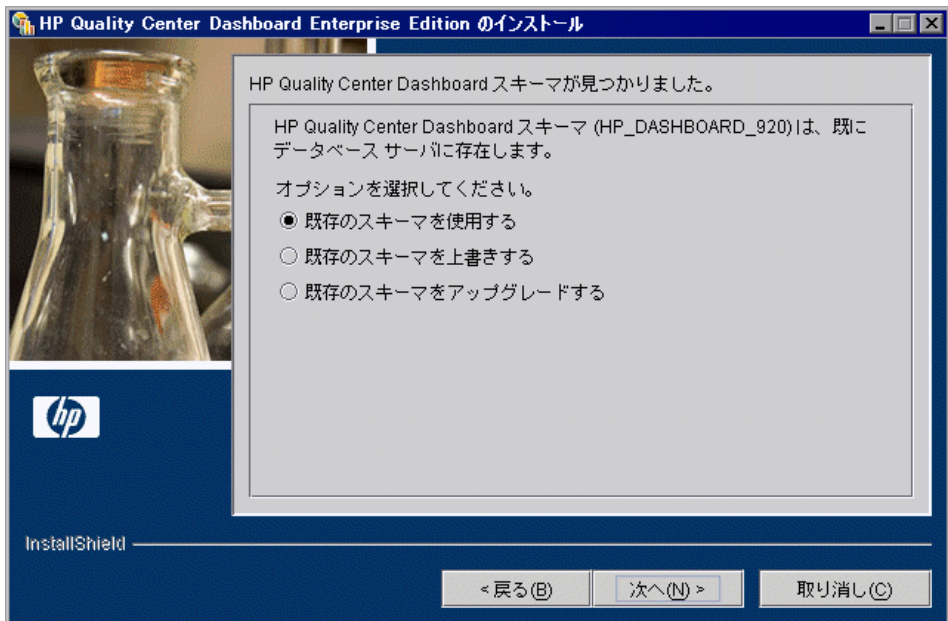
- ▶ **[HP Quality Center Dashboard ユーザのパスワード]** (Oracle および Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)) : Dashboard にログインするために使用されるパスワードを入力します。
- ▶ **[Oracle SID]** (Oracle のみ) : Oracle システム ID を入力します。
- ▶ **[Database Server Pipe Name]** (Microsoft SQL Server (Windows 認証) のみ) : Microsoft SQL Server のサーバ・パイプ名を入力します。

Oracle ユーザへの注意 :

Oracle ユーザは次の権限を持っている必要があります。

- ▶ create user
 - ▶ create table with admin option
 - ▶ create session with admin option
 - ▶ create view with admin option
 - ▶ drop user
 - ▶ select from dba_users
 - ▶ select from dba_tablespaces
 - ▶ create procedure with admin option
 - ▶ create sequence with admin option
 - ▶ query rewrite with admin option
-

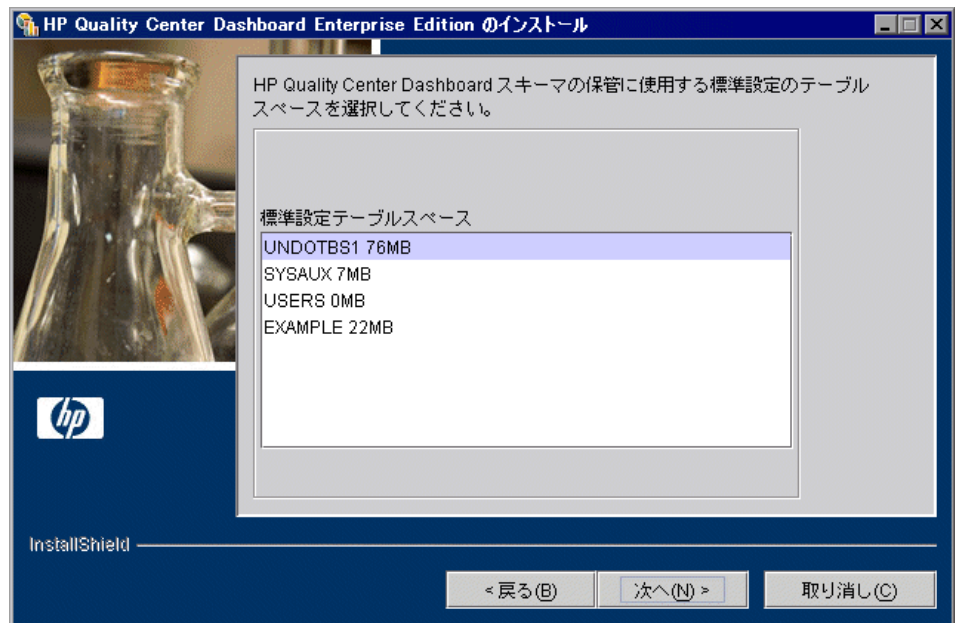
- 4 [次へ] をクリックします。データベース・サーバが存在することと、入力したパラメータが正しいことが確かめられます。
 - ▶ Dashboard データベース・スキーマがすでに存在する場合は、次のようにします。
 - ▶ **Oracle** または **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** の場合は、42 ページの手順 5 に進みます。
 - ▶ **Microsoft SQL Server (Windows 認証)** の場合は、45 ページの手順 8 に進みます。
 - ▶ Dashboard データベース・スキーマがまだ存在しない場合は、次のようにします。
 - ▶ **Oracle** の場合は、43 ページの手順 6 に進みます。
 - ▶ **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** または **Microsoft SQL Server (Windows 認証)** の場合は、45 ページの手順 8 に進みます。
- 5 Dashboard データベース・スキーマがすでに存在する場合は、[HP Quality Center Dashboard スキーマが見つかりました] 画面が開きます。



次のいずれかのオプションを選択し、[次へ] をクリックします。

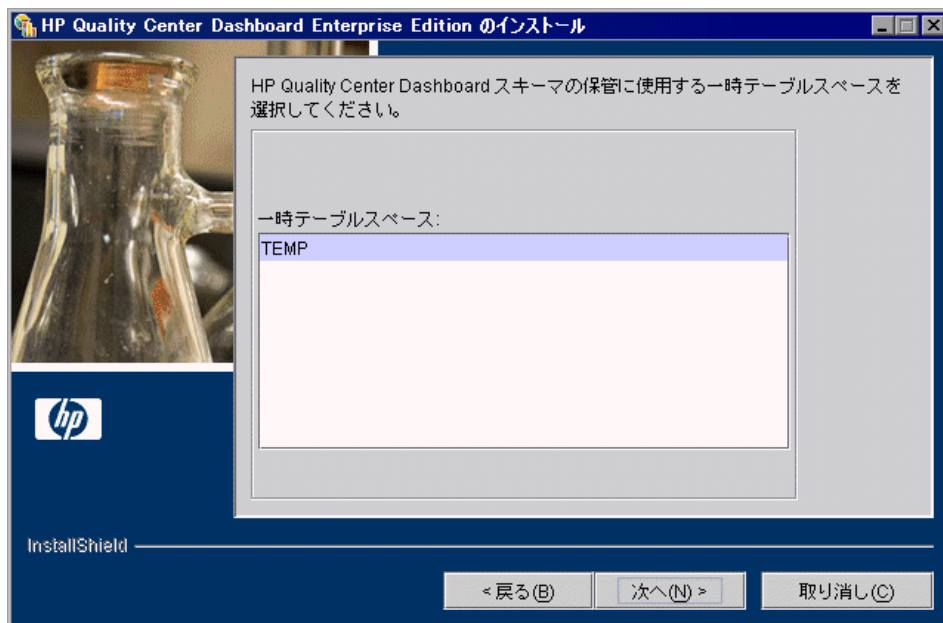
- ▶ **「既存のスキーマを使用する」**：既存のデータベース・スキーマで作業できます。45 ページの手順 8 に進みます。
- ▶ **「既存のスキーマを上書きする」**：データベース・スキーマを新規に作成し、既存のデータを上書きします。
 - ▶ **Oracle** の場合は、43 ページの手順 6 に進みます。
 - ▶ **Microsoft SQL Server (SQL Server 認証)** の場合は、45 ページの手順 8 に進みます。
- ▶ **「既存のスキーマをアップグレードする」**：古いバージョンの Dashboard 用に作成された既存のデータベース・スキーマをアップグレードします。45 ページの手順 8 に進みます。

6 [標準設定テーブルスペース] 画面が開きます。



Dashboard スキーマの標準の格納場所をリストから選択します。

7 [次へ] をクリックします。[一時テーブルスペース] 画面が開きます。



Dashboard スキーマの一時格納場所をリストから選択します。

- 8 [次へ] をクリックします。[Quality Center 情報] 画面が開きます。



Quality Center に関する次の情報を入力します。

- ▶ **[Quality Center のホスト]** : Quality Center がインストールされているマシンの名前または IP アドレスを入力します。
- ▶ **[Quality Center のポート]** : ホスト・マシンの接続先となるポートの番号を入力します。Quality Center の標準のポートは 8080 です。

注 : Dashboard を Quality Center サーバ用にインストールしようとしていて、Quality Center サーバの IIS を SSL のもとで実行する場合は、TestDirector for Quality Center ナレッジ・ベース (<http://support.mercury.com>) (英語サイト) を参照し、Problem ID **44213** を検索してください。

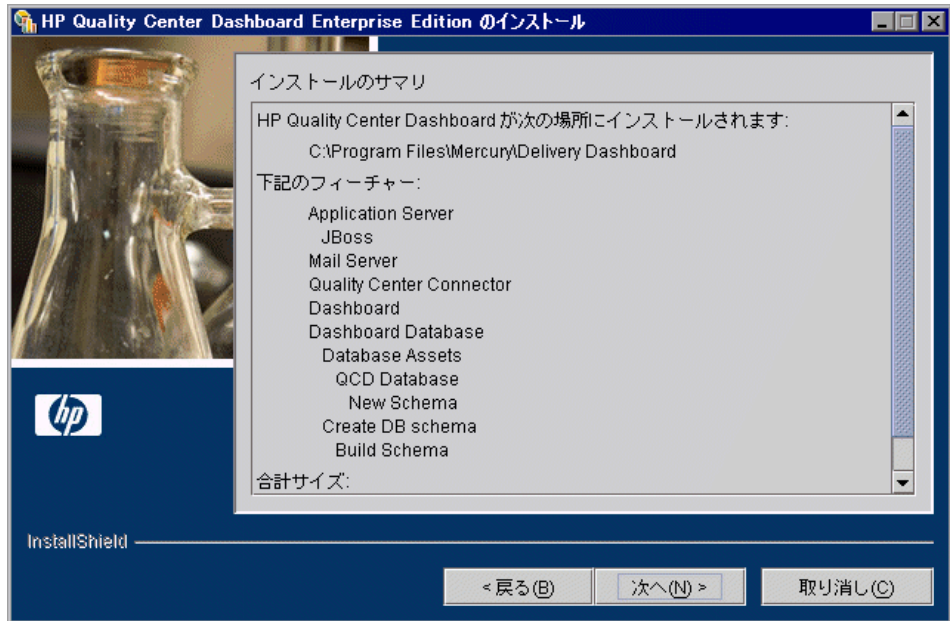
46 ページ「インストールの完了」に進みます。

インストールの完了

インストールの最後の作業になります。

インストールの詳細を確認して **Dashboard** を起動するには、次の手順を実行します。

- 1 **[次へ]** をクリックします。[インストールのサマリ] 画面が開きます。



注：Quality Center サーバで SSL を使用している場合は、[インストールのサマリ] 画面が表示されるまでに時間がかかります。

設定の確認や変更を行うには、**[戻る]** をクリックします。

設定を確定してインストール処理を開始するには、**[次へ]** をクリックします。

注：Java 仮想マシン（JVM）がインストールされ、ディレクトリの内容が上書きされることを示すメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。

インストールの進捗状況が進捗表示バーに表示されます。これにはしばらく時間がかかる場合があります。

JBoss と連携動作するように Dashboard をインストールした場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、48 ページの手順 3 に進みます。

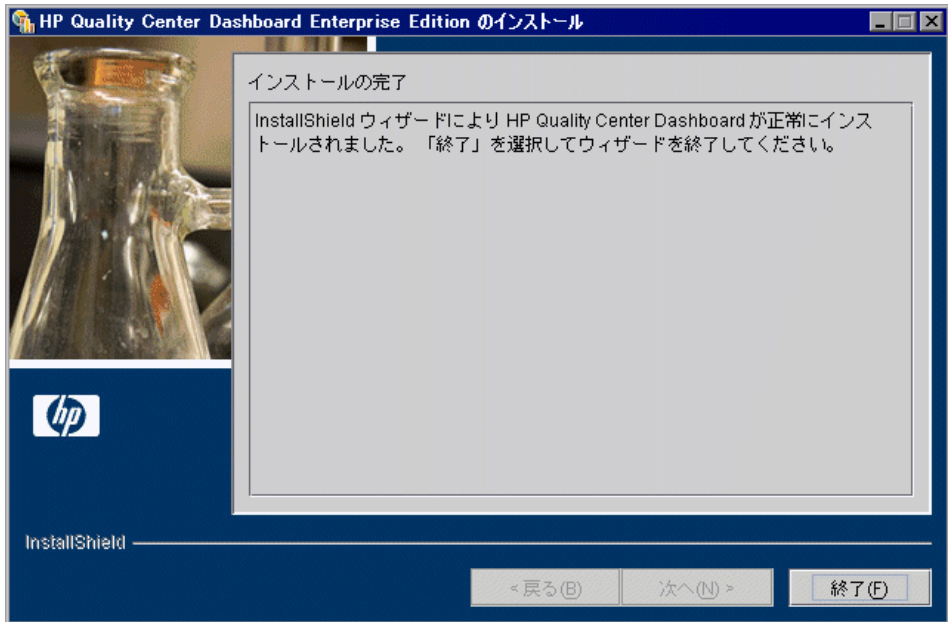
- 2 JBoss を IIS Web サーバと統合した場合は、[再起動が必要です] 画面が開き、変更を適用するために Web サーバを再起動するよう求められます。[次へ] をクリックします。

インストールが完了すると、[JBoss の起動] 画面が開き、Dashboard を起動するために JBoss サーバを起動するかどうかを指定するよう求められます。



次のいずれかのオプションを選択します。

- ▶ **[[はい]]** : JBoss サーバが起動し、Dashboard が有効になります。
 - ▶ **[[いいえ]]** : インストールを完了しますが、Dashboard は起動しません。
- 3 **[[次へ]]** をクリックします。場合によって、IIS の再起動を促すメッセージが表示された後、インストールが正常に完了したことを示す **[[インストールの完了]]** 画面が開きます。



[[終了]] をクリックします。

注 : Dashboard には、インポートが可能な標準モジュールが用意されています。この標準モジュールは、ポートレットで構成される一連のページです。標準モジュールのインポートの詳細については、『**HP Quality Center Dashboard Administrator's Guide**』（英語版）を参照してください。

4 **WebLogic** または **WebSphere** アプリケーション・サーバに Dashboard をインストールした場合は、アプリケーションを手動で配備する必要があります。Dashboard の手動配備の詳細については、以下を参照してください。

- ▶ **WebLogic** アプリケーション・サーバの場合は、第3章「WebLogic サーバへの Dashboard アプリケーションの配備」を参照してください。
- ▶ **WebSphere** アプリケーション・サーバの場合は、第4章「WebSphere サーバへの Dashboard アプリケーションの配備」を参照してください。

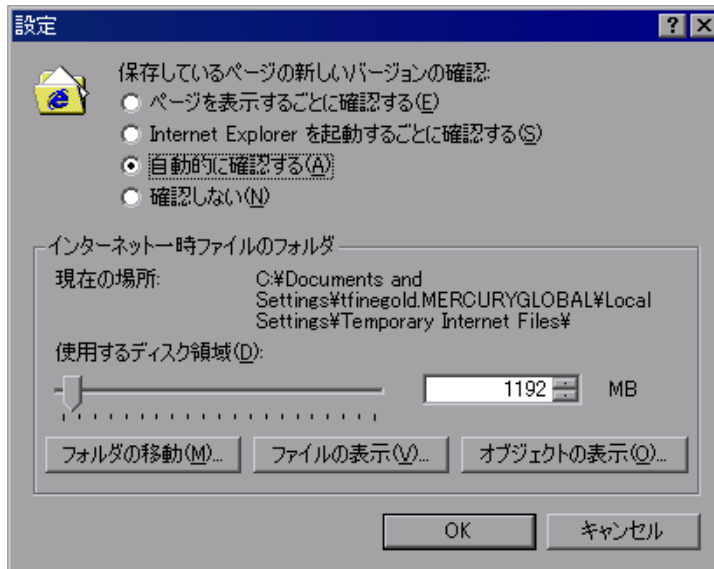
インターネット一時ファイルの設定の定義

Dashboard は HTML ページがベースとなっています。そのため、保存されているページの最新版を表示するために、インターネット一時ファイルの設定を行う必要があります。保存されているページの新しいバージョンがないかを自動的にチェックする設定を行わない場合は、各ページを定期的に手作業で更新する必要があります。

インターネット一時ファイルの設定を定義するには、次の手順を実行します。

- 1 Web ブラウザを開きます。
- 2 [ツール] > [インターネット オプション] を選択します。[インターネット オプション] ダイアログ・ボックスが開き、[全般] タブが表示されます。

- 3 [インターネット一時ファイル] 領域で、[設定] を選択します。[設定] ダイアログ・ボックスが開きます。



- 4 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で、[ページを表示することを確認する] または [自動的に確認する] ラジオ・ボタンを選択します。これで、保存されているページを開くたびに必ず最新のページが開くようになります。
- 5 [OK] をクリックして新しい設定を保存します。
- 6 [OK] をクリックして [インターネット オプション] ダイアログ・ボックスを閉じると、新しい設定が適用されます。

第 3 章

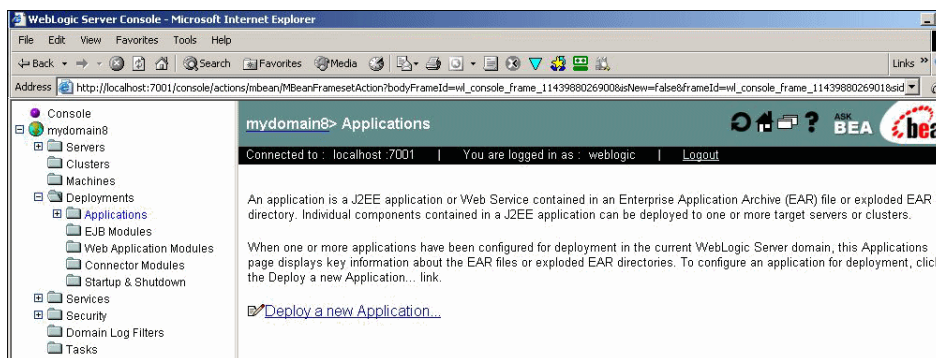
WebLogic サーバへの Dashboard アプリケーションの配備

本章では、WebLogic アプリケーション・サーバに Dashboard アプリケーションを配備する方法について説明します。

Dashboard をインストール（第 2 章「Dashboard のセットアップ」を参照）した後は、Dashboard アプリケーションを配備できます。Dashboard アプリケーションを配備するには、WebLogic Server Console の [Applications] ページを使用します。

Dashboard アプリケーションを配備するには、次の手順を実行します。

- 1 WebLogic Server Console のナビゲーション・ツリーで、[< **WebLogic ドメイン**>] > [Deployments] > [Applications] を選択します。[Applications] ページが開きます。



- 2 **[Deploy a new Application]** リンクをクリックします。[Select the Archive for this Application] ページが開きます。

Deploy an Application

Select the archive for this application

Select the file path that represents your archive or exploded archive directory.

Note: Only valid file paths are shown below. If you do not find what you are looking for, you should [upload your file\(s\)](#) and/or confirm your application contains valid descriptors.

Location: [localhost](#) \ [C:](#) \ [bea](#) \ [user_projects](#) \ [domains](#) \ mydomain8

	applications
	myserver

Continue

- 3 **[Location:]** の後に続くパス・リンクを使用して、Dashboard のインストール・フォルダにある **DeliveryDashboard.ear** フォルダを参照します。

Deploy an Application

Select the archive for this application

Select the file path that represents your archive or exploded archive directory.

Note: Only valid file paths are shown below. If you do not find what you are looking for, you should [upload your file\(s\)](#) and/or confirm your application contains valid descriptors.

Location: [localhost](#) \ [C:](#) \ [Program Files](#) \ [Mercury](#) \ Delivery Dashboard_wl_2005

	_jvm
	DashboardDatabase
	DashboardServer
<input checked="" type="radio"/>	DeliveryDashBoard.ear
	general
	logs
	QccServer
	Utils

Continue

- 4 **「Continue」** をクリックします。**「Review Your Choices and Deploy」** ページが開きます。

Deploy an Application

Review your choices and deploy

Deployment Targets

Your application will be deployed to the following locations:

DeliveryDashBoard will be deployed to
Servers - myserver

Source Accessibility

Since this is a single server environment, no further stage configuration is required. The server will access this application's files from the location specified.

Identity

Enter a name to be used to identify this application.

Name:

The name of this application deployment.

Deploy

- 5 **[Deploy]** をクリックします。**[Deployment Status for Web Application Modules]** ページが開き、アプリケーション内の各モジュールの配備状況が表示されます。

Configuration
Targets
Deploy
Notes

This page allows you to view the deployment status of each module in the application. You may also choose to stop and redeploy all modules within the application using the buttons at the bottom of the page. (To configure additional deployment targets for this application, click the Targets tab.)

Deployment Status for Web Application Modules

Module	Module Status	Target	Target Type	Status of Last Action
MetaDataSource	Inactive	myserver	Server	In Progress (23 seconds)
qcc	Inactive	myserver	Server	In Progress (23 seconds)
KPI Scheduling Server	Inactive	myserver	Server	In Progress (24 seconds)
dashboard	Inactive	myserver	Server	In Progress (24 seconds)
DeliveryCenter	Inactive	myserver	Server	In Progress (24 seconds)

Deploy Application

- 6 配備プロセスが完了するまで待機します。

Configuration
Targets
Deploy
Notes

This page allows you to view the deployment status of each module in the application. You may also choose to stop and redeploy all modules within the application using the buttons at the bottom of the page. (To configure additional deployment targets for this application, click the Targets tab.)

Deployment Status for Web Application Modules

Module	Module Status	Target	Target Type	Status of Last Action
MetaDataSource	Active	myserver	Server	Success
qcc	Active	myserver	Server	Success
KPI Scheduling Server	Active	myserver	Server	Success
dashboard	Active	myserver	Server	Success
DeliveryCenter	Active	myserver	Server	Success

Stop Application
Redeploy Application

[Status of Last Action] に **[Success]** と表示されれば、アプリケーションの配備が正常に終了しています。

第 4 章

WebSphere サーバへの Dashboard アプリケーションの配備

本章では、WebSphere アプリケーション・サーバに Dashboard アプリケーションを配備する方法と設定値の指定方法について説明します。Dashboard は WebSphere バージョン 5.1.1.8 または 6.1 にインストールできます。

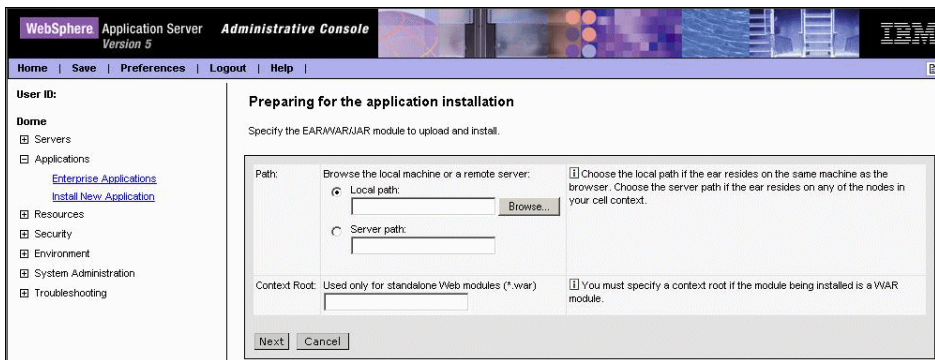
本章の内容	ページ
WebSphere 5.1.1.8 への Dashboard アプリケーションの配備	56
WebSphere 5.1.1.8 での設定値の指定	61
WebSphere 6.1 への Dashboard アプリケーションの配備	64
WebSphere 6.1 での設定値の指定	70

WebSphere 5.1.1.8 への Dashboard アプリケーションの配備

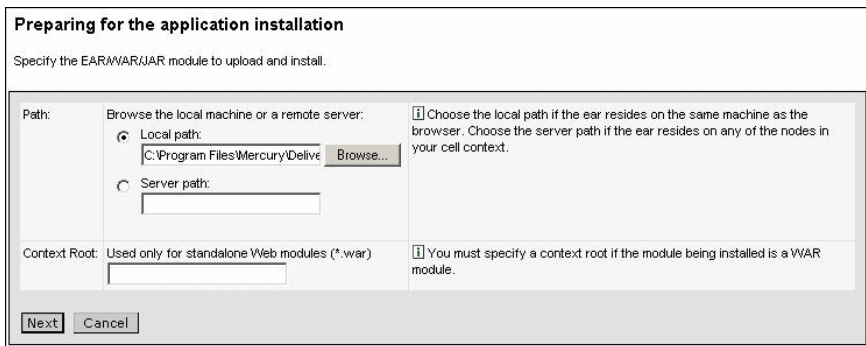
Dashboard をインストール（第2章「Dashboard のセットアップ」を参照）した後は、Dashboard アプリケーションを配備できます。Dashboard アプリケーションを配備するには、WebSphere 管理コンソールの [Applications] ページを使用します。

Dashboard アプリケーションを配備するには、次の手順を実行します。

- 1 左側のナビゲーション・ツリーで、**[Applications] > [Install New Application]** を選択します。[Preparing for the Application Installation] ページが開きます。




- 2 **[Browse]** ボタンをクリックし、Dashboard インストール・フォルダにある **DeliveryDashboard.ear** ファイルを選択します。






- 3 **[Next]** をクリックします。**[Preparing for the Application Installation]** ページにデフォルト・バインディングとマッピングのオプションが表示されます。

Preparing for the application installation

You can choose to generate default bindings and mappings. 

☒ **Generate Default Bindings**

Override:	<input checked="" type="radio"/> Do not override existing bindings <input type="radio"/> Override existing bindings	 Generate default bindings for existing entries and over write them.
Virtual Host	<input type="radio"/> Do not default virtual host name for web modules <input checked="" type="radio"/> Default virtual host name for web modules: <input type="text" value="default_host"/>	 The virtual host to be used for this web module.
Specific bindings file:	<input type="text"/> <input type="button" value="Browse..."/>	 Optional location of pre-defined bindings file.

[Generate Default Bindings] チェック・ボックスを選択します。

- 4 **[Next]** をクリックします。**[Step 1: Provide Options to Perform the Installation]** ページが開きます。

→ **Step 1: Provide options to perform the installation**

Specify the various options available to prepare and install your application.

AppDeployment Options	Enable
Pre-compile JSP	<input type="checkbox"/>
Directory to Install Application	<input type="text"/>
Distribute Application	<input checked="" type="checkbox"/>
Use Binary Configuration	<input type="checkbox"/>
Deploy EJBs	<input type="checkbox"/>
Application Name	<input type="text" value="DeliveryDashboard"/>
Create MBeans for Resources	<input checked="" type="checkbox"/>
Enable Class Reloading	<input type="checkbox"/>
Reload Interval in Seconds	<input type="text"/>
Deploy WebServices	<input type="checkbox"/>

[Step 2](#) Map virtual hosts for web modules
[Step 3](#) Map modules to application servers

このページに変更を加える必要はありません。

5 [Next] をクリックします。[Step 2: Map Virtual Hosts for Web Modules] ページが開きます。

Install New Application

Allows installation of Enterprise Applications and Module

[Step 1](#) Provide options to perform the installation

→ Step 2: Map virtual hosts for web modules

Specify the virtual host where you want to install the Web modules contained in your application. Web modules can be installed on the same virtual host or dispersed among several hosts.

☐ Apply Multiple Mappings

<input checked="" type="checkbox"/> Web Module	Virtual Host
<input checked="" type="checkbox"/> applications/10MetaDataSource.war	default_host ▾
<input checked="" type="checkbox"/> applications/15qcc.war	default_host ▾
<input checked="" type="checkbox"/> applications/20KPIschedulingServer.war	default_host ▾
<input checked="" type="checkbox"/> dashboard	default_host ▾
<input checked="" type="checkbox"/> applications/DeliveryCenter.war	default_host ▾

Previous

Next

Cancel

[Step 3](#) Map modules to application servers

[Web Module] チェック・ボックスを選択します。

6 [Next] をクリックします。[Step 3: Map Modules to Application Servers] ページが開きます。

[Step 1](#) Provide options to perform the installation

[Step 2](#) Map virtual hosts for web modules

→ Step 3: Map modules to application servers

Specify the application server where you want to install modules contained in your application. Modules can be installed on the same server or dispersed among several servers.

Clusters and Servers:

Apply

<input checked="" type="checkbox"/> Module	URI	Server
<input checked="" type="checkbox"/> applications/10MetaDataSource.war	applications/10MetaDataSource.war,WEB-INF/web.xml	WebSphere:cell=Dome,node=Dome,server=server1
<input checked="" type="checkbox"/> applications/15qcc.war	applications/15qcc.war,WEB-INF/web.xml	WebSphere:cell=Dome,node=Dome,server=server1
<input checked="" type="checkbox"/> applications/20KPIschedulingServer.war	applications/20KPIschedulingServer.war,WEB-INF/web.xml	WebSphere:cell=Dome,node=Dome,server=server1
<input checked="" type="checkbox"/> dashboard	applications/dashboard.war,WEB-INF/web.xml	WebSphere:cell=Dome,node=Dome,server=server1
<input checked="" type="checkbox"/> applications/DeliveryCenter.war	applications/DeliveryCenter.war,WEB-INF/web.xml	WebSphere:cell=Dome,node=Dome,server=server1

Previous

Next

Cancel

[Module] チェック・ボックスを選択します。

7 **[Next]** をクリックします。**[Step 4: Summary]** ページが開きます。

[Step 2](#) Map virtual hosts for web modules
[Step 3](#) Map modules to application servers
→ Step 4: Summary

Summary of Install Options

Options	Values
Distribute Application	Yes
Use Binary Configuration	No
CellNode/Server	Click here
Enable Class Reloading	No
Create MBeans for Resources	Yes
Deploy EJBs	No
Reload Interval in Seconds	
Application Name:	DeliveryDashboard
Directory to Install Application	
Pre-compile JSP	No
Application Name	DeliveryDashboard
Deploy WebServices	No

8 **[Finish]** をクリックします。インストールが始まります。インストールの進捗状況を示すページが開きます。

Installing..

If there are EJB's in the application, the EJB Deploy process may take several minutes. Please do not save the configuration until the process is complete.

Check the SystemOut.log on the Deployment Manager or Server where the application is deployed for specific information about the EJB Deploy process as it occurs.

ADMA5005t: Application DeliveryDashboard configured in WebSphere repository

ADMA5001t: Application binaries saved in D:\Program Files\AppServer\wstemp\0\workspace\cells\Dom0\applications\DeliveryDashboard.ear\DeliveryDashboard.ear

ADMA5011t: Cleanup of temp dir for app DeliveryDashboard done.

ADMA5013t: Application DeliveryDashboard installed successfully.

Application DeliveryDashboard installed successfully.

If you want to start the application, you must first save changes to the master configuration.

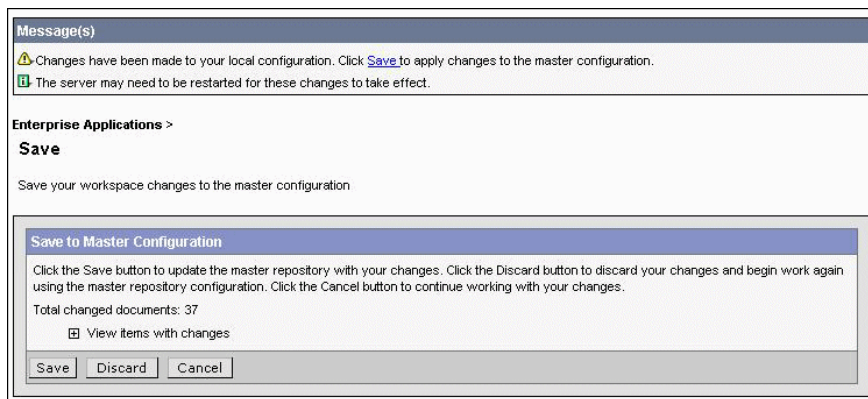
[Save to Master Configuration](#)

If you want to work with installed applications, then click Manage Applications.

[Manage Applications](#)

インストールが完了すると、**[Application DeliveryDashboard installed successfully]** というメッセージが表示されます。

- 9 **[Save to Master Configuration]** リンクをクリックします。[Enterprise Applications] ページにローカル設定のメッセージが表示されます。



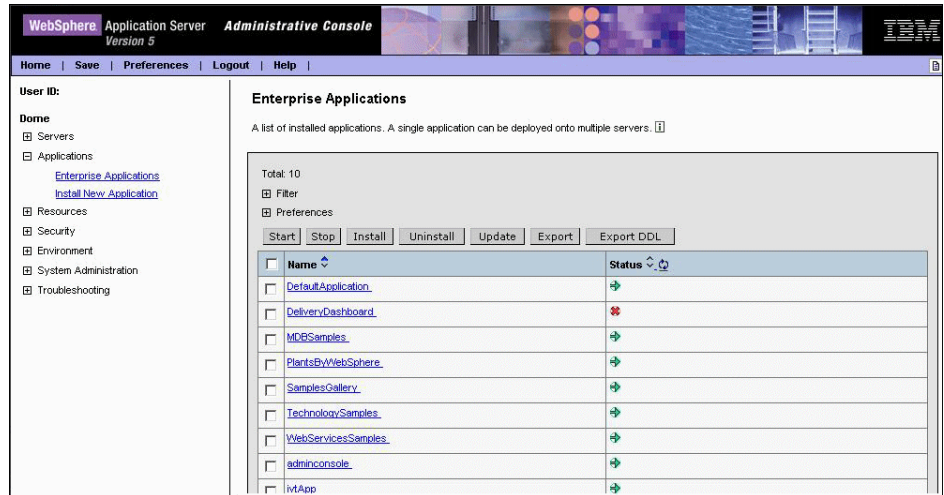
- 10 **[Save]** ボタンをクリックして、変更内容をマスタ設定に保存します。

WebSphere 5.1.1.8 での設定値の指定

WebSphere 管理コンソールを使用して、Dashboard アプリケーションを配備するための設定値を指定します。

設定値を指定するには、次の手順を実行します。

- 1 左側のナビゲーション・ツリーで、**[Applications] > [Enterprise Applications]** を選択します。



- 2 **[DeliveryDashboard]** リンクをクリックし、**[Configuration]** タブを選択します。

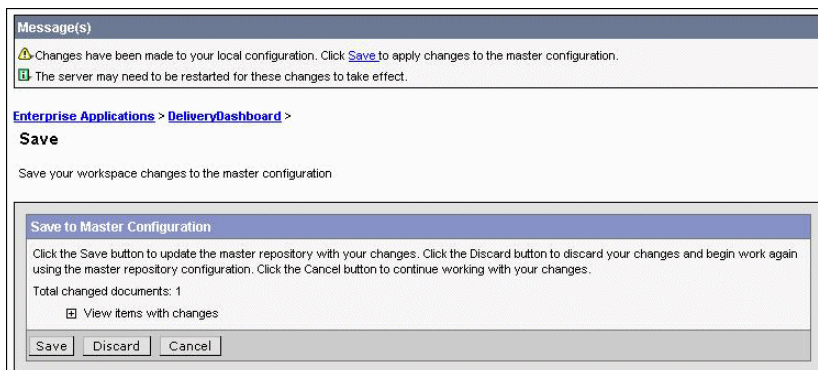
Enable Distribution	<input checked="" type="checkbox"/>	<small>Specifies whether the application will be distributed automatically to other nodes on the cell. The default is for automatic distribution.</small>
Classloader Mode	* PARENT_LAST	<small>Specifies whether classes are loaded via the parent classloader before this one.</small>
WAR Classloader Policy	* Module	<small>Defines whether there is a single classloader for all WARs in the application or a classloader per WAR in the application.</small>
Create MBeans For Resources	<input checked="" type="checkbox"/>	<small>Create MBeans For Resources</small>
Reload Enabled	<input type="checkbox"/>	<small>Specifies if class reloading is enabled for application files when they get updated.</small>
Reload Interval	3	<small>The timeperiod (in seconds) in which the application's filesystem will be scanned for updated files.</small>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Cancel"/>		
Additional Properties		
Target Mappings	The mapping of this deployed object (Application or Module) into a target environment (server, cluster, cluster member)	
Libraries	A list of library references which specify the usage of global libraries.	
Session Management	Session Manager properties specific to this Application	
Provide HTTP endpoint URL information	Provide Web services endpoint URL information for SOAP/HTTP bindings	

- ▶ **[Classloader Mode]** ボックスで、ドロップダウン・リストから **[PARENT_LAST]** を選択します。
- ▶ **[WAR Classloader Policy]** ボックスで、ドロップダウン・リストから **[Module]** を選択します。

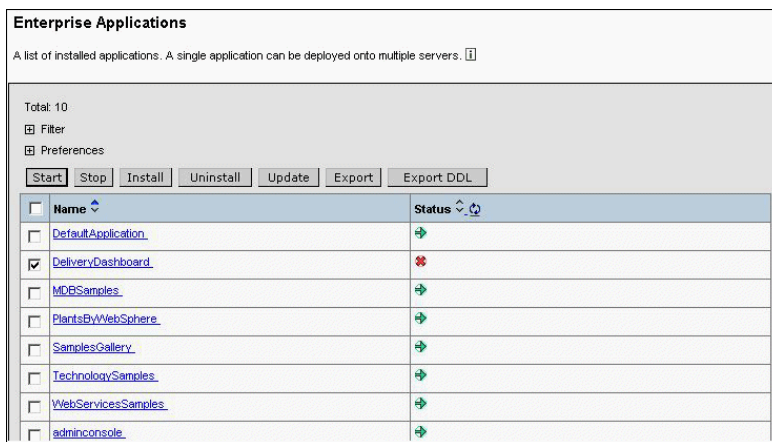
- 3 **[Additional Properties]** テーブルで、**[Session Management]** リンクをクリックします。

Overwrite Session Management	<input checked="" type="checkbox"/> Overwrite	<small>Specifies whether this SessionManager settings are to be used for the current module. Default is to use Session Manager settings defined on parent object.</small>
Session tracking mechanism:	<input type="checkbox"/> Enable SSL ID tracking <input checked="" type="checkbox"/> Enable Cookies <input checked="" type="checkbox"/> Enable URL Rewriting <input type="checkbox"/> Enable protocol switch rewriting	<small>Specify a mechanism for HTTP session management.</small>
Overflow:	<input checked="" type="checkbox"/> Allow overflow	<small>Whether to allow the number of sessions in memory to exceed the value specified by Max In Memory Session Count property. This is valid only in non-persistent sessions mode.</small>
Maximum in memory session count:	1000	<small>Specifies the maximum number of sessions</small>

- ▶ **[Overwrite Session Management]** ボックスで, **[Overwrite]** チェック・ボックスを選択します。
 - ▶ **[Session Tracking Mechanism]** ボックスで, **[Enable URL Rewriting]** チェック・ボックスを選択します。
- 4 **[OK]** をクリックします。**[Enterprise Applications]** ページにローカル設定のメッセージが表示されます。



- [Save]** リンクをクリックして, 変更内容をマスタ設定に適用します。
- 5 **[Save]** ボタンをクリックして, 変更内容でマスタ・リポジトリを更新します。インストールされたアプリケーションのリストが表示されます。



- 6 **[DeliveryDashboard]** チェック・ボックスを選択し, **[Start]** をクリックして Dashboard アプリケーションを配備します。配備が完了します。

WebSphere 6.1 への Dashboard アプリケーションの配備

Dashboard をインストール（第2章「Dashboard のセットアップ」を参照）した後は、Dashboard アプリケーションを配備する必要があります。Dashboard アプリケーションを配備するには、WebSphere 管理コンソールの [Applications] ページを使用します。

Dashboard アプリケーションを配備するには、次の手順を実行します。

- 1 左側のナビゲーション・ツリーで、**[Applications] > [Install New Application]** を選択します。[Preparing for the application installation] ページが開きます。

- 2 **[Full Path]** エディット・ボックスに **DeliveryDashboard.ear** パスを挿入します。
[Show me all installation options and parameters] ラジオ・ボタンを選択します。

- 3 **[Next]** をクリックします。**[Preparing for the Application Installation]** ページに標準のバインドおよび割り当てに対するオプションが表示されます。

The screenshot shows a web browser window titled "Enterprise Applications" with a "Close page" link in the top right. The main content area is titled "Preparing for the application installation" and contains the instruction "Choose to generate default bindings and mappings." Below this, there are three main sections: 1. "Generate Default Bindings" with an unchecked checkbox. 2. "Override:" with two radio buttons: "Do not override existing bindings" (selected) and "Override existing bindings". 3. "Virtual Host" with two radio buttons: "Do not use default virtual host name for Web or SIP modules" (selected) and "Use default virtual host name for Web and SIP modules:". Below the second radio button is a text input field labeled "Host name" containing the text "default_host". At the bottom of the form is a section labeled "Specific bindings file" with an empty text input field and a "Browse..." button. At the very bottom are three buttons: "Previous", "Next", and "Cancel".

[Generate Default Bindings] チェック・ボックスと **[Use default virtual host name for Web and SIP modules]** ラジオ・ボタンを選択します。

- 4 **[Next]** をクリックします。**[Select Installation Options]** ページが開きます。このページに変更を加える必要はありません。

5 [Next] をクリックします。[Map Modules to Servers] ページが開きます。

Install New Application

Specify options for installing enterprise applications and modules.

Step 1 Select installation options

→ Step 2: Map modules to servers

Step 3 Provide JSP reloading options for Web modules

Step 4 Map shared libraries

Step 5 Initialize parameters for servlets

Step 6 Map virtual hosts for Web modules

Step 7 Map context roots for Web modules

Step 8 Summary

Map modules to servers

Specify targets such as application servers or clusters of application servers where you want to install the application. The plug-in configuration file (plugin-cfg.xml) for each Web server is generated.

Clusters and Servers:
WebSphere:cell=ildtrd132Node01,Node=ildtrd132Node01,server=server1

Select	Module	URI
<input type="checkbox"/>	applications/10MetaDataServer.war	applications/10MetaDataServer.war,WEB-INF/web.xml
<input type="checkbox"/>	applications/15qcc.war	applications/15qcc.war,WEB-INF/web.xml
<input type="checkbox"/>	applications/20KPIschedulingServer.war	applications/20KPIschedulingServer.war,WEB-INF/web.xml
<input type="checkbox"/>	dashboard	applications/dashboard.war,WEB-INF/web.xml
<input type="checkbox"/>	applications/DeliveryCenter.war	applications/DeliveryCenter.war,WEB-INF/web.xml

Previous

Next

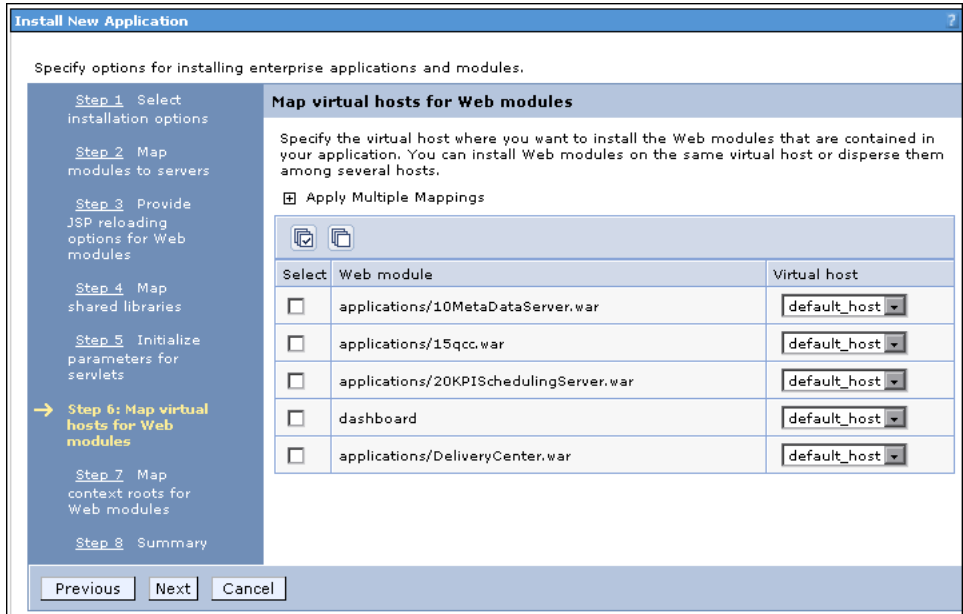
Cancel



[Select all items] ボタンをクリックして、すべてのチェック・ボックスを選択します。

- 6 [Next] をクリックします。[Provide JSP Reloading Options for Web Modules] ページが開きます。このページに変更を加える必要はありません。
- 7 [Next] をクリックします。[Map Shared Libraries] ページが開きます。このページに変更を加える必要はありません。
- 8 [Next] をクリックします。[Initialize Parameters for Servlets] ページが開きます。このページに変更を加える必要はありません。

- 9 **[Next]** をクリックします。**[Map Virtual Hosts for Web Modules]** ページが開きます。



Install New Application

Specify options for installing enterprise applications and modules.

Step 1 Select installation options

Step 2 Map modules to servers

Step 3 Provide JSP reloading options for Web modules

Step 4 Map shared libraries

Step 5 Initialize parameters for servlets

→ Step 6: Map virtual hosts for Web modules

Step 7 Map context roots for Web modules

Step 8 Summary

Map virtual hosts for Web modules

Specify the virtual host where you want to install the Web modules that are contained in your application. You can install Web modules on the same virtual host or disperse them among several hosts.

☒ Apply Multiple Mappings

Select	Web module	Virtual host
<input type="checkbox"/>	applications/10MetaDataSource.war	default_host
<input type="checkbox"/>	applications/15qcc.war	default_host
<input type="checkbox"/>	applications/20KPISchedulingServer.war	default_host
<input type="checkbox"/>	dashboard	default_host
<input type="checkbox"/>	applications/DeliveryCenter.war	default_host

Previous Next Cancel



[Select all items] ボタンをクリックして、すべてのチェック・ボックスを選択します。

- 10 **[Next]** をクリックします。**[Map Context Roots for Web Modules]** ページが開きます。このページに変更を加える必要はありません。

11 [Next] をクリックします。[Summary] ページが開きます。

Install New Application

Specify options for installing enterprise applications and modules.

Step 1 Select installation options

Step 2 Map modules to servers

Step 3 Provide JSP reloading options for Web modules

Step 4 Map shared libraries

Step 5 Initialize parameters for servlets

Step 6 Map virtual hosts for Web modules

Step 7 Map context roots for Web modules

→ Step 8: Summary

Summary

Summary of installation options

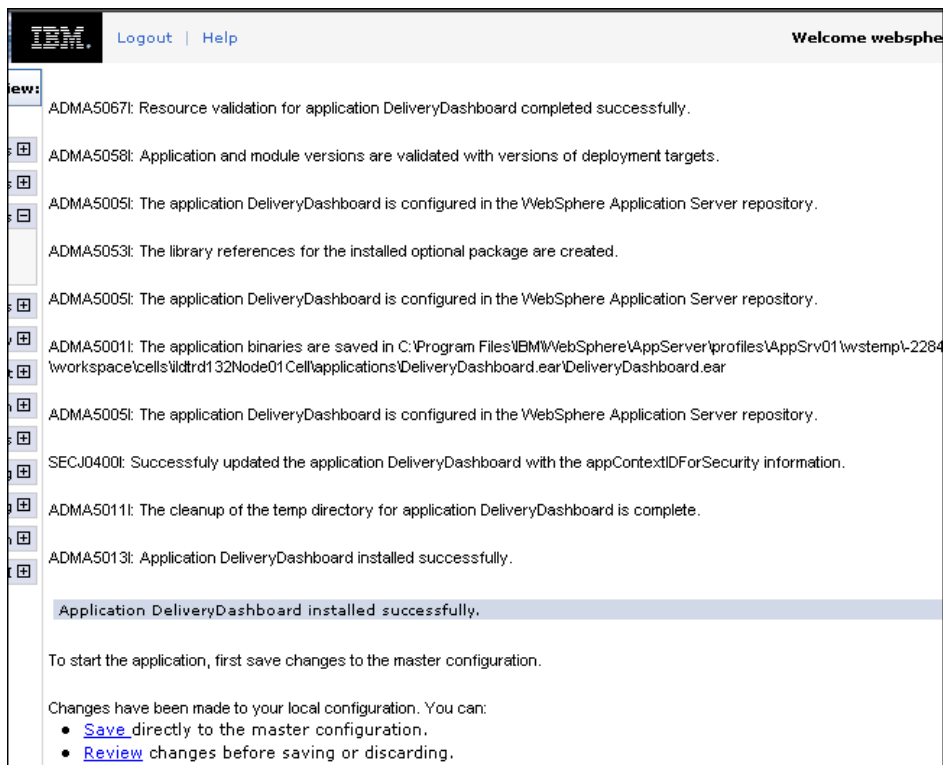
Options	Values
Precompile JavaServer Pages files	No
Directory to install application	
Distribute application	Yes
Use Binary Configuration	No
Deploy enterprise beans	No
Application name	DeliveryDashboard
Create MBeans for resources	Yes
Enable class reloading	No
Reload interval in seconds	
Deploy Web services	No
Validate Input off/warn/fail	warn
Process embedded configuration	No
File Permission	.*\,dll=755#.*\,so=755#.*\,a=755#.*\,
Application Build ID	Unknown
Allow dispatching includes to remote resources	No
Allow servicing includes from remote resources	No
Cell/Node/Server	Click here

Previous

Finish

Cancel

- 12 **[Finish]** をクリックします。インストールが始まります。インストールの進捗状況を示すページが開きます。



インストールが完了すると、**[Application DeliveryDashboard installed successfully]** というメッセージが表示されます。

- 13 **[Save]** リンクをクリックします。**[Preparing for the Application Installation]** ページに戻ります。ブラウザ・ウィンドウを閉じます。

WebSphere 6.1 での設定値の指定

Dashboard を配備した後は、アプリケーションを設定する必要があります。設定は次の手順で行います。

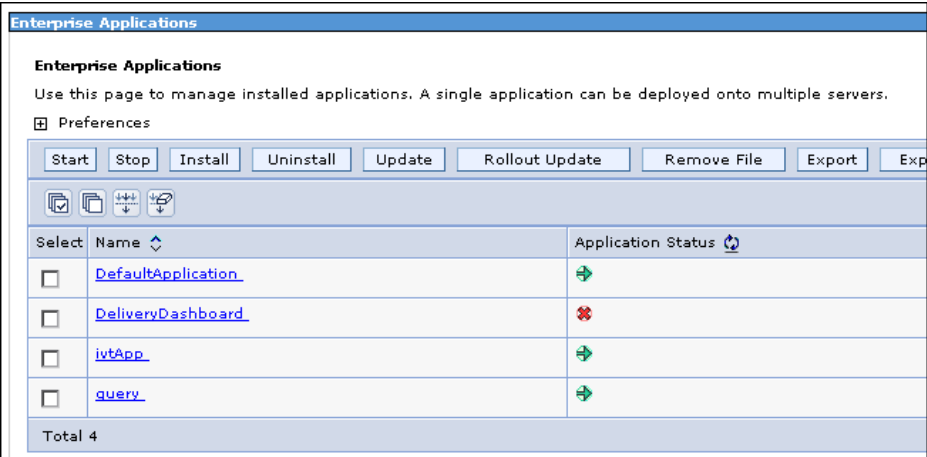
- ▶ セッション管理の設定
- ▶ クラス・ローダーの順序の設定

セッション管理の設定

セッション管理を設定するには、WebSphere 管理コンソールの [Applications] ページを使用します。

セッション管理を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 左側のナビゲーション・ツリーで、[Applications] > [Enterprise Applications] を選択します。[Enterprise Applications] ページが開きます。



- 2 **[DeliveryDashboard]** リンクをクリックします。**[Enterprise Applications]** ページの **[Configuration]** タブが開きます。

The screenshot shows the 'Enterprise Applications' configuration page in a web browser. The page title is 'Enterprise Applications'. Below the title bar, there is a breadcrumb trail: 'Enterprise Applications > DeliveryDashboard'. A descriptive text states: 'Use this page to configure an enterprise application. Click the links to access pages for further configuring of the application or its modules.' A 'Configuration' tab is selected. The page is divided into several sections: 'General Properties' with fields for 'Name' (set to 'DeliveryDashboard') and 'Application reference validation' (set to 'Issue warnings'); 'Detail Properties' with a list of links including 'Target specific application status', 'Startup behavior', 'Application binaries', 'Class loading and update detection', 'Remote request dispatcher properties', 'View Deployment Descriptor', and 'Last participant support extension'; 'Modules' with a link to 'Manage Modules'; 'Web Module Properties' with links for 'Session management', 'Context Root For Web Modules', 'Initialize parameters for servlets', 'JSP reload options for web modules', and 'Virtual hosts'; and 'References' with a link to 'Shared library references'. At the bottom, there are four buttons: 'Apply', 'OK', 'Reset', and 'Cancel'.

Enterprise Applications

Enterprise Applications

Enterprise Applications > DeliveryDashboard

Use this page to configure an enterprise application. Click the links to access pages for further configuring of the application or its modules.

Configuration

General Properties

* Name
DeliveryDashboard

Application reference validation
Issue warnings

Detail Properties

- Target specific application status
- Startup behavior
- Application binaries
- Class loading and update detection
- Remote request dispatcher properties
- View Deployment Descriptor
- Last participant support extension

References

- Shared library references

Modules

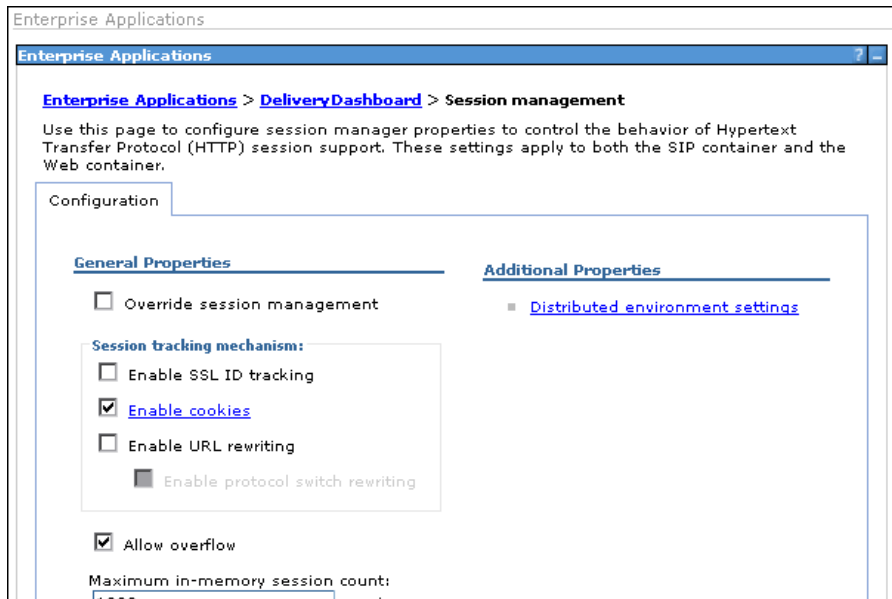
- Manage Modules

Web Module Properties

- Session management
- Context Root For Web Modules
- Initialize parameters for servlets
- JSP reload options for web modules
- Virtual hosts

Apply OK Reset Cancel

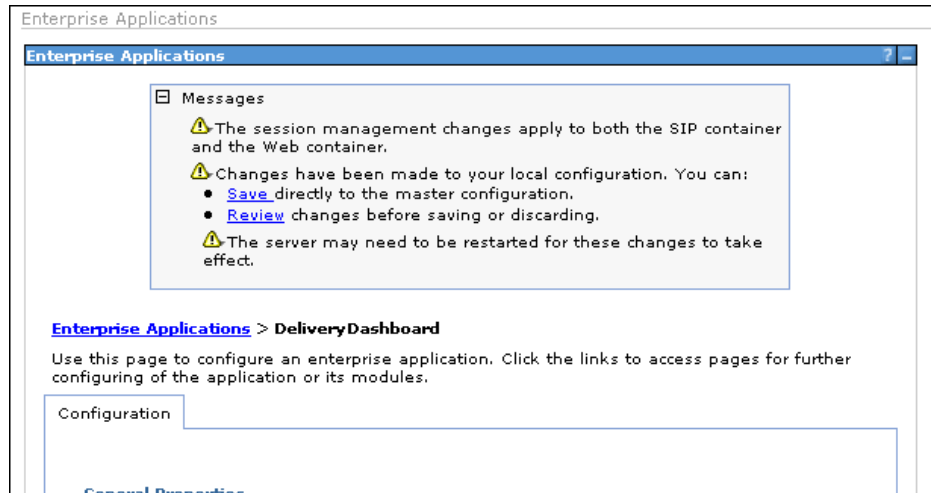
- 3 **[Session management]** リンクをクリックします。[Enterprise Applications] ページの **[Configuration]** タブにセッション管理のオプションが表示されます。



[Override session management] チェック・ボックスを選択します。

[Enable URL rewriting] チェック・ボックスを選択します。

- 4 **[OK]** をクリックします。**[Enterprise Applications]** ページの **[Configuration]** タブにセッション管理のメッセージが表示されます。



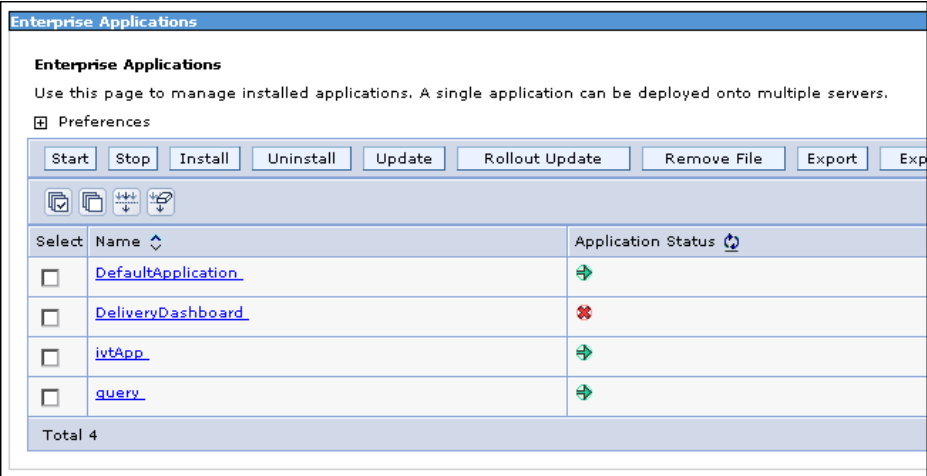
- 5 **[Save]** リンクをクリックします。

クラス・ローダーの順序の設定

クラス・ローダーの順序を設定するには、WebSphere 管理コンソールの [Applications] ページを使用します。

クラス・ローダーの順序を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 左側のナビゲーション・ツリーで、[Applications] > [Enterprise Applications] を選択します。[Enterprise Applications] ページが開きます。



- 2 **[DeliveryDashboard]** リンクをクリックします。**[Enterprise Applications]** ページの **[Configuration]** タブが開きます。

The screenshot shows the 'Enterprise Applications' configuration page in a web browser. The page title is 'Enterprise Applications'. Below the title bar, there is a breadcrumb trail: 'Enterprise Applications > DeliveryDashboard'. A paragraph of text states: 'Use this page to configure an enterprise application. Click the links to access pages for further configuring of the application or its modules.' Below this text is a tabbed interface with the 'Configuration' tab selected. The configuration area is divided into several sections: 'General Properties' with fields for 'Name' (set to 'DeliveryDashboard') and 'Application reference validation' (set to 'Issue warnings'); 'Detail Properties' with a list of links including 'Target specific application status', 'Startup behavior', 'Application binaries', 'Class loading and update detection', 'Remote request dispatcher properties', 'View Deployment Descriptor', and 'Last participant support extension'; 'References' with a link for 'Shared library references'; 'Modules' with a link for 'Manage Modules'; and 'Web Module Properties' with links for 'Session management', 'Context Root For Web Modules', 'Initialize parameters for servlets', 'JSP reload options for web modules', and 'Virtual hosts'. At the bottom of the configuration area are four buttons: 'Apply', 'OK', 'Reset', and 'Cancel'.

Enterprise Applications

Enterprise Applications > DeliveryDashboard

Use this page to configure an enterprise application. Click the links to access pages for further configuring of the application or its modules.

Configuration

General Properties

* Name
DeliveryDashboard

Application reference validation
Issue warnings

Detail Properties

- Target specific application status
- Startup behavior
- Application binaries
- Class loading and update detection
- Remote request dispatcher properties
- View Deployment Descriptor
- Last participant support extension

References

- Shared library references

Modules

- Manage Modules

Web Module Properties

- Session management
- Context Root For Web Modules
- Initialize parameters for servlets
- JSP reload options for web modules
- Virtual hosts

Apply OK Reset Cancel

- 3 [Manage modules] リンクをクリックします。[Manage Modules] ページが開きます。

Enterprise Applications

[Enterprise Applications](#) > [DeliveryDashboard](#) > Manage Modules

Manage Modules

Specify targets such as application servers or clusters of application servers where you want to install the modules that same application server or dispersed among several application servers. Also, specify the Web servers as targets that configuration file (plugin-cfg.xml) for each Web server is generated, based on the applications that are routed through

Clusters and Servers:

WebSphere:cell=ildtrd132Node01Cell,node=ildtrd132Node01,server=server1

Apply

RemoveUpdateRemove File

Select	Module	URI	Module Type	Server
<input type="checkbox"/>	applications/10MetaDataServer.war	applications/10MetaDataServer.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/15qcc.war	applications/15qcc.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/20KPISchedulingServer.war	applications/20KPISchedulingServer.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	dashboard	applications/dashboard.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/DeliveryCenter.war	applications/DeliveryCenter.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere

OK

Cancel

- 4 **[applications/15qcc.war]** リンクをクリックします。15qcc.war の **[Configuration]** タブが開きます。

Enterprise Applications > **DeliveryDashboard** > **Manage Modules** > **applications/15qcc.war**

Use this page to configure an instance of a deployed Web module in the application. This page contains deployment-specific information for a Web module and session management settings.

Configuration

General Properties	Additional Properties
<p>* URI</p> <p>applications/15qcc.war</p> <p>Alternate deployment descriptor</p>	<ul style="list-style-type: none"> View Module Class Loader Target specific application status View Deployment Descriptor View Portlet Deployment Descriptor Session Management
<p>* Starting weight</p> <p>10000</p>	
<p>* Class loader order</p> <p>Classes loaded with parent class loader first</p>	
<p>Apply OK Reset Cancel</p>	

- 5 **[Class loader order]** ドロップダウン・リストで、**[Classes loaded with application class loader first]** を選択します。

6 [OK] をクリックします。[Manage Modules] ページに設定のメッセージが表示されます。

Enterprise Applications

Messages

⚠

Changes have been made to your local configuration. You can:

- [Save](#) directly to the master configuration.
- [Review](#) changes before saving or discarding.

⚠

The server may need to be restarted for these changes to take effect.

Enterprise Applications > DeliveryDashboard > Manage Modules

Manage Modules

Specify targets such as application servers or clusters of application servers where you want to install the modules to the same application server or dispersed among several application servers. Also, specify the Web servers as targets that the configuration file (plugin-cfg.xml) for each Web server is generated, based on the applications that are routed through the server.

Clusters and Servers:

WebSphere:cell=ildtrd132Node01Cell,node=ildtrd132Node01,server=server1

Apply

Remove

Update

Remove File

Select	Module	URI	Module Type	Server
<input type="checkbox"/>	applications/10MetaDataServer.war	applications/10MetaDataServer.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/15qcc.war	applications/15qcc.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere

78

7 **[Save]** リンクをクリックします。**[Manage Modules]** ページが開きます。

Enterprise Applications

[Enterprise Applications](#) > [DeliveryDashboard](#) > **Manage Modules**

Manage Modules

Specify targets such as application servers or clusters of application servers where you want to install the modules that same application server or dispersed among several application servers. Also, specify the Web servers as targets that configuration file (plugin-cfg.xml) for each Web server is generated, based on the applications that are routed through

Clusters and Servers:

WebSphere:cell=ildtrd132Node01Cell,node=ildtrd132Node01,server=server1

☐ ☐

Select	Module	URI	Module Type	Server
<input type="checkbox"/>	applications/10MetaDataServer.war	applications/10MetaDataServer.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/15qcc.war	applications/15qcc.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/20KPISchedulingServer.war	applications/20KPISchedulingServer.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	dashboard	applications/dashboard.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere
<input type="checkbox"/>	applications/DeliveryCenter.war	applications/DeliveryCenter.war,WEB-INF/web.xml	Web Module	WebSphere

8 **[OK]** をクリックします。**[Manage Modules]** ページに設定のメッセージが表示されます。

Enterprise Applications

☐ Messages

- ⚠ Changes have been made to your local configuration. You can:
 - [Save](#) directly to the master configuration.
 - [Review](#) changes before saving or discarding.
- ⚠ The server may need to be restarted for these changes to take effect.

[Enterprise Applications](#) > [DeliveryDashboard](#)

Use this page to configure an enterprise application. Click the links to access pages for further configuring of the application modules.

Configuration

General Properties

* Name
DeliveryDashboard

Application reference validation

Modules

■ [Manage Modules](#)

Web Module Properties

- 9 **[Save]** リンクをクリックします。**[Enterprise Applications]** ページが開きます。

Select	Name	Application Status
<input type="checkbox"/>	DefaultApplication	➔
<input type="checkbox"/>	DeliveryDashboard	✖
<input type="checkbox"/>	ivtApp	➔
<input type="checkbox"/>	query	➔

Total 4

- 10 **[DeliveryDashboard]** の横にあるチェック・ボックスを選択し、**[Start]** ボタンをクリックします。**[Enterprise Applications]** ページに DeliveryDashboard が正常に起動したことを示すメッセージが表示されます。

Messages

Application DeliveryDashboard on server server1 and node ildtrd132Node01 started successfully.

Select	Name	Application Status
<input type="checkbox"/>	DefaultApplication	➔
<input type="checkbox"/>	DeliveryDashboard	➔
<input type="checkbox"/>	ivtApp	➔
<input type="checkbox"/>	query	➔

Total 4

ブラウザ・ウィンドウを閉じます。

第 5 章

Dashboard のアンインストール

Web サーバから Dashboard をアンインストールすることが可能です。アンインストールの後も、Dashboard のデータはスキーマから削除されず、以降のインストールに使用できます。Dashboard スキーマを削除するには、データベース管理者に連絡してください。

本章の内容	ページ
Windows からの Dashboard のアンインストール	81
Linux, Solaris, または AIX からの Dashboard のアンインストール	82

Windows からの Dashboard のアンインストール

本項では、Windows サーバ・マシンから Dashboard をアンインストールする方法を説明します。

Dashboard をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **[スタート]** メニューから **[コントロール パネル]** を開き、**[アプリケーションの追加と削除]** を選択します。**[アプリケーションの追加と削除]** ダイアログ・ボックスが開きます。
- 2 **[HP Quality Center Dashboard]** を選択し、**[変更と削除]** をクリックします。
- 3 **[よろこぞ]** 画面が開きます。**[次へ]** をクリックします。
- 4 **[アンインストールのプレビュー]** ダイアログ・ボックスが開きます。アンインストールする機能の概要を確認し、**[次へ]** をクリックします。
- 5 **[クリーンアップ]** ダイアログ・ボックスが開きます。ログ・ファイルやソース・ファイルなどのファイルを削除する場合は **[はい]** をクリックし、**[次へ]** をクリックします。

- オペレーティング・システムやシステム構成によっては、[再起動] ダイアログ・ボックスが開きます。[はい、今すぐコンピュータを再起動します] をクリックし、[完了] をクリックします。

アンインストール処理が完了し、Dashboard がサーバから削除されます。

Linux, Solaris, または AIX からの Dashboard のアンインストール

本項では、Linux, Solaris, または AIX のサーバ・マシンから Dashboard をアンインストールする方法を説明します。

注： Dashboard をアンインストールするには、Dashboard のインストール時と同じユーザ・ログインを使用する必要があります。

Linux, Solaris, または AIX から Dashboard をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- アプリケーション・サーバが起動していることを確認します。
- システム・プロンプトに対して次のコマンドを入力します。

`/ <ディレクトリ> / < Dashboard のディレクトリ> / _uninst/uninstall.bin`

HP Dashboard アンインストール・ウィザードが起動します。

[次へ] をクリックします。画面に表示される指示に従います。